

神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2024年12月号)

2024年12月24日



1. 今月のトピックス

- 観光庁 2024年度補正予算案の概要 全国 国内 [P.2～8](#)
- 市内宿泊の動向（国内OTAデータ モニタリング7～9月） 神戸 国内 [P.9～16](#)
- 神戸観光局SNS情報 神戸 国内 [P.17～18](#)

2. 市内宿泊の動向

- 国内OTAデータ モニタリング速報 神戸 国内 [P.19～23](#)

3. 市内宿泊の動向②

- 延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県、神戸市）[推計値] 神戸 全国 関西 国内 外国人 [P.24～29](#)
- 市内ホテル平均稼働率 神戸 [P.30](#)

4. 全国のインバウンドに関する情報

- 2024年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 全国 外国人 [P.31～33](#)

5. 交通機関に関する情報

- 関西国際空港・神戸空港の利用状況 関西 [P.35](#)
- 関西国際空港 国際線入国状況 関西 外国人 [P.36](#)
- 旅客ターミナル クルーズ船寄港実績 神戸 [P.37～38](#)
- 【クルーズ船】1月の入港予定情報 神戸 [P.39](#)

6. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

- 市内観光案内所(国内)観光客案内件数、(訪日)国籍別対応状況、最新対応概況 神戸 国内 外国人 [P.41～43](#)
- 主要市内観光施設来場者数 神戸 [P.44](#)
- 神戸市内大型施設の主な催事情報(1～3月) 神戸 [P.45～47](#)

- 参考資料集 [P.48～](#)

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス①

観光庁 2024年度補正予算案の概要

・11月29日、観光庁は今年度補正予算案の概要を発表。予算規模：約543億円（12/17 参議院本会議可決・成立済）
※令和5年度補正予算（2023.11.10発表時）：689億円。（R5⇒R6 ▲約146億円）

観光庁 令和6年度補正予算関係

543億円



地方誘客促進によるインバウンド拡大 (80億円)

地域の観光資源を活用し、
より高単価な特別体験商品を造成



特別名勝での茶懐石体験



国際スポーツ大会での
選手との交流や特別観覧

観光コンテンツの開発、
適切な販路開拓、情報発信等を総合的に支援



伝統工芸や生業の活用



冬の星空観測

能登半島地震の観光再生支援 (5億円)

専門家の派遣により、計画策定、
コンテンツ造成、プロモーション等を支援

観光地・観光産業の再生・高付加価値化 (300億円)

面的な宿泊施設の改修、廃屋撤去等を支援



宿泊施設の大規模改修

←2022年度 第2次補正予算措置の
国庫債務負担行為の予算枠500億
円からの歳出化予算

オーバーツーリズム対策等の受入環境整備 (158億円)

オーバーツーリズムの未然防止・抑制を推進



受入環境の整備・増強



マナー違反行為の防止・抑制

ユニバーサルツーリズムを促進



宿泊施設のバリアフリー化

■ 地方誘客促進によるインバウンド拡大 (80億円) ①

- ▼ 「観光再始動事業」「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業」と類似。
これまで同様「高価格帯商品造成による消費額拡大」、新たに「**地域調達率の高いコンテンツ造成**」に着目。

地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業



事業目的・背景・課題

- 2024年の訪日市場は為替の後押し等もあり、過去最高の3500万人・8兆円の達成も視野。他方、政府目標である2030年6000万人・15兆円の達成のためには未だ道半ばであり、**一人あたりの消費額も2万円以上の更なる積み増し**が必要である等、観光消費額の向上に向け、一層の取組強化が必要。特に我が国は観光コンテンツ等の娯楽サービス費支出が諸外国と比べて低い点が課題。
- このような状況を踏まえ、より効果的に観光消費を拡大し、地域へインバウンドの経済効果を波及させる観点から、自然、文化、食、スポーツ等の**我が国が誇る地域の観光資源を活用し、より高単価な特別体験商品（プレミアムインバウンドツアー）の造成**が急務。『日本でしか経験できない特別な体験』を提供するプレミアムツアーは消費額の向上だけでなく、当該コンテンツ単独でインバウンドの来日意欲を創出する効果も期待。このような地域への経済波及効果の高い観光コンテンツを集中的に造成し、地方創生に繋げる。

事業内容

高単価な特別体験『プレミアムインバウンドツアー』の造成

- より効果的に消費額拡大を図るために、消費意欲が旺盛なインバウンド客をターゲットに、我が国が誇る観光資源を生かした**高価格帯商品の造成を集中的に実施**。特に貴重な観光資源の特別開放、地域産品や伝統工芸品等のモノ消費と一体となった特別体験、高単価商品の造成による多角化促進等に注力。
- また、地域への経済波及効果の最大化を促進するため、**地域調達率の高いコンテンツ**造成を支援。

海外情報発信

- 造成したプレミアムツアーを活用した来日意欲の創出のため、訪日イベント等を実施。

事業スキーム

- ・事業形態：間接補助事業（最低事業費1,500万円）
- ・補助額：1,000万円（定額）+250～3,500万円（補助率1/2）
例）総額1,500万円の場合 1,000万円（定額分）+250万円（1/2補助分）
- ・補助対象：国→民間事業者（事務局）→地方公共団体、DMO、民間事業者等

事業イメージ



■ 地方誘客促進によるインバウンド拡大（80億円）②

- ▼ 「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ助成支援事業」「地域観光新発見事業」と類似。これまで同様「地方部誘客のためのコンテンツ造成」、昨年に引き続き、**再度「適切な販路開拓や情報発信も含めた総合的な支援」**に対する補助事業を行う。

地域観光魅力向上事業



事業目的・背景・課題

- コロナ禍以降、三大都市圏への需要の偏在が深刻化。2024年は若干改善したが、**依然として地方誘客の状況はコロナ前水準に達しておらず、都道府県ごとにも需要の回復に差が生じている**状況。インバウンドの地域偏在を解消し、全国津々浦々に観光による経済効果を波及するためには、**地域の多様な観光資源を生かした観光コンテンツの造成**を更に進め、**来訪目的の創出**が必要。
- また、**個人手配化・オンライン手配化への急激な転換**といったコロナ後の状況を踏まえ、観光コンテンツの造成だけでなく、**適切な販路開拓や情報発信も含めた総合的な支援**が必要。これらの支援を通じて、**地方誘客を行う上で来訪の目的の創出を担う重要産業である地域の観光コンテンツ産業の裾野の拡大や活性化に寄与**。

事業内容

- 将来に亘って持続的に地方誘客が促進されるよう、まだ観光に未活用の地域資源の活用など、**地域資源を活用した収益性が高く独自性・新規性のある観光コンテンツの開発から、適切な販路開拓や情報発信の総合的な支援**を行い、中長期に亘って販売可能なビジネスモデルづくりの支援を全国各地で実施。

<支援内容>

- ・観光分野の専門家によるアドバイス等を通じた観光コンテンツの磨き上げや商品化の支援
- ・観光コンテンツの販路開拓のための商談会の開催やOTA掲載等の支援、SNSによる情報発信等の支援

事業イメージ



事業スキーム

- ・事業形態：間接補助事業 400万円まで定額、400万円を超える部分については補助率1/2（補助上限：1,250万円、最低事業費：600万円）
- ・補助対象：国→民間事業者（事務局）→地方公共団体、DMO、民間事業者等

お問い合わせ先 観光庁 観光資源課 新コンテンツ開発推進室 電話：03-5253-8924

■ オーバーツーリズム対策等の受入環境整備 (158億円) ①

▼ 昨年度に引き続き、「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」が計上された。

オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業



事業目的・背景・課題

- 国内外の観光需要が堅調に回復する中で、一部の地域や時間帯等によっては、観光客の過度な混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度の低下への懸念も生じている状況であり、適切な対応が必要。
- 観光客の受け入れと住民の生活の質の確保を両立しつつ、持続可能な観光地域づくりを実現するには、地域自身があるべき姿を描き、実情に応じた具体策を講じることが有効であり、こうした取組を総合的に支援する。

事業内容

各地域が現在抱えている／今後抱えるオーバーツーリズムに関する課題について、その未然防止・抑制に向けた様々な取組※を総合的に支援する。

<類型>

- ① **地域一体型**：地方公共団体／DMOが中心となり、地域の観光関係者や住民の参画を得つつ実施する取組を支援。
- ② **実証・個別型**：地方公共団体／DMO／民間事業者等が主体となった取組を支援。（民間事業者等が主体となる場合、地方公共団体との連携が必須）

※(a) 地域における受入環境の整備・増強、(b) 需要の適切な管理、(c) 需要の分散・平準化、(d) マナー違反行為の防止・抑制、(e) 地域住民と協働した観光振興に係る取組（いずれも調査・実証事業を含む。）を対象とする。

事業スキーム

- ・ 事業形態：①、②ともに間接補助事業
- ・ 補助対象：国→民間事業者（事務局）

→①地方公共団体、DMO

補助率等：1地域あたり400万円まで定額、補助率2/3（※）、1/2、上限額：8,000万円

※申請主体が持続可能な観光に取り組む地域である場合（日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）ロゴマークを取得済又は取得予定）

→②地方公共団体、DMO、民間事業者等

補助率等：1/2、上限額：5,000万円

事業イメージ



お問い合わせ先:観光庁 参事官(外客受入) 電話:03-5253-8972

■ オーバーツーリズム対策等の受入環境整備（158億円）②

▼ 観光業界における人材不足対策事業も継続。

事業者向け

観光地・観光産業における人材不足対策事業



事業目的・背景・課題

- 宿泊業ではインバウンドをはじめとする観光需要の急速な回復に伴い人手不足が顕著となっている。今後更なる増加が見込まれる観光需要を着実に取り込み、地方への旅行者数・旅行消費額等の増加といったインバウンドによる経済効果を最大限にするためにも、受け皿となる宿泊業の人手不足の解消が急務。
- 人手不足の解消に向け、採用活動等の足下の対策、機械化・DX化推進のための設備投資支援等の短期的な対策、外国人材の活用等の中長期的な対策など、あらゆるフェーズの人手不足対策を総合的に実施。

事業内容

- ① 人材確保の促進
大型の合同企業説明会等における宿泊業の魅力発信イベントの実施等、事業者の採用活動を全面的に促進
- ② 人材活用の高度化に向けた設備投資支援
人手をかけるべき業務に人材を集中投下し、サービス水準向上・賃上げを実現するため、スマートチェックイン・アウト、配膳・清掃等ロボット、チャットボット、予約等管理システム（PMS）等の設備投資を支援
- ③ 外国人材の確保
特定技能試験の受験者を増やすためのジョブフェア等のPR活動、試験合格者の雇用のためのマッチングイベントの実施、観光地における外国語対応人材の確保等

事業イメージ

- 設備投資支援



スマートチェックイン・アウト



配膳ロボット



チャットボット

- 外国人材の確保



特定技能外国人材
(宿泊業)

事業スキーム

- ・ 事業形態：①③直轄事業 ②間接補助事業（補助上限500万円、補助率1/2）
- ・ 補助対象・請負先：①③民間事業者 ②国→民間事業者（事務局）→宿泊事業者

お問い合わせ先：観光庁 観光産業課 電話：03-5253-8367

■ オーバーツーリズム対策等の受入環境整備 (158億円) ③

・その他ユニバーサルツーリズム促進や、災害時に向けたインバウンドの安全対策、観光産業再生促進事業など

観光地・観光産業におけるユニバーサルツーリズム促進事業



事業目的・背景・課題

- 人口減少が進む中で、国内における新たな交流市場を開拓する取組が求められているところ、今後増加が見込まれる高齢者等の旅行需要を喚起するため、そのニーズを的確に把握し、ユニバーサルツーリズム（誰もが気兼ねなく参加できる旅行）の普及・定着を目指すことが期待されている。
- このため、観光施設や宿泊施設のバリアフリー化を一層推進してユニバーサルツーリズムを促進することにより、国内における新たな交流市場を開拓するとともに、観光地・観光産業の収益性の向上を図る必要がある。

事業内容

- 高齢者等が気兼ねなく旅行に参加できる環境を整備し、ユニバーサルツーリズムを促進するために、観光施設や宿泊施設のバリアフリー化に必要な施設整備や設備導入等を支援する。

事業者向け

事業イメージ

- ✓ 段差を解消して高齢者等が移動しやすくするために客室を改修する。



- ✓ 身体が不自由な方のために腰をかけられるように浴室を改修する。



事業スキーム

- ・事業形態：間接補助事業（補助率1/2 補助上限1,500万円）
- ・補助対象：国→民間事業者（事務局）→民間事業者

お問い合わせ先：観光庁 参事官(産業競争力強化) 電話:03-5253-8948

地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業



事業目的・背景・課題

- 災害が激甚化・頻発化する中、訪日客が旅行中に災害に遭うケースも想定されるとともに、訪日客が増加する中、旅行中に医療機関を受診するケースも増加することが想定される。
- 更なる地方誘客促進に向けて、訪日外国人旅行者が日本各地を安全・安心に訪れることができる旅行環境整備が必要であり、地域における観光客を含めた危機管理体制の検討・構築、多言語での正確な情報発信、観光施設等における非常時対応機能強化、医療機関におけるキャッシュレス決済等の整備等を推進する。



事業内容

- ① 地域における観光危機管理計画の策定補助
 - ・各地域における訪日外国人旅行者を含めた観光客に対する災害時の対応方針等の計画策定を支援。
- ② 観光施設等の避難所機能・多言語対応機能の強化
 - ・訪日外国人旅行者の一次的な安全・安心確保のため、観光施設等における非常用電源装置や多言語対応AED等の整備、多言語機能の強化等の環境整備を支援。
- ③ 医療機関の訪日外国人患者受入機能の強化
 - ・訪日外国人旅行者が医療機関を受診する場合の利便性向上に向けて、キャッシュレス決済の導入、医療機関内の多言語化等の環境整備を支援。

事業イメージ



事業スキーム

- ・事業形態①：直接補助事業（補助率1/2、上限500万円） 補助対象：地方公共団体
- ・事業形態②：直接補助事業（補助率1/2） 補助対象：民間事業者、地方公共団体、DMO等
- ・事業形態③：直接補助事業（補助率1/2） 補助対象：民間事業者等

お問い合わせ先：観光庁 参事官(外客受入) 電話:03-5253-8972

観光産業再生促進事業



事業目的・背景・課題

- 観光産業の中核である宿泊業は、これまで地域における観光需要の受け皿としての役割を果たしてきたところであるが、コロナ禍で増加した債務の返済に行き詰まることで、本来その宿泊施設が有する魅力を十分に発揮することができず、今後、倒産・廃業に至る宿泊事業者が増加するおそれがある。
- この点、現在でも公的な支援制度があるが、宿泊業の運営面に関する専門的なサポートは限られており、また、宿泊業に特化した事業再生のモデルも十分に整備・共有されていない。
- そこで、債務を抱えつつも再生能力があると見込まれる宿泊事業者に対し、他の公的な支援制度とも連携し、宿泊業の再生ノウハウを集約したガイドラインを作成し、これを広く共有していくことで、宿泊事業者の再生機会の拡大を図ることが必要である。

事業内容・事業イメージ

① 宿泊業の再生モデル事例の創出及びガイドラインの策定・周知

- ・中小企業活性化協議会等の公的な支援制度と連携し、経営状況が悪化しているものの事業再生の見込みのある宿泊事業者を選定し、宿泊業に精通したコンサル事業者の派遣・アドバイスの下、宿泊業に特化した事業再生のアクションプラン（原価計算に基づくサービス水準の決定、従業員の活用方法等）を策定。

- ・再生モデル事例より得られたノウハウを収集の上、ガイドラインを策定し、幅広く宿泊事業者や金融機関等の関係者に共有。

② 再生に必要なシステム、備品及び設備の改善

- ・①のアクションプランと連動した、選定された宿泊事業者が再生を図る上で必要となるシステム、備品及び設備の改善費用を支援。

- (例) 軒先の補修、客室・ロビーの改善、PMSの導入 等



事業スキーム

- ・事業形態：①直轄事業 ②間接補助事業（上限700万円、補助率2/3）
- ・補助対象・請負先：①民間事業者 ②国→民間事業者（事務局）→宿泊事業者

お問い合わせ先：観光庁 観光産業課 電話:03-5253-8330

・補正予算案の内容は、今後の国会審議を経て確定となりますので、ご留意ください。

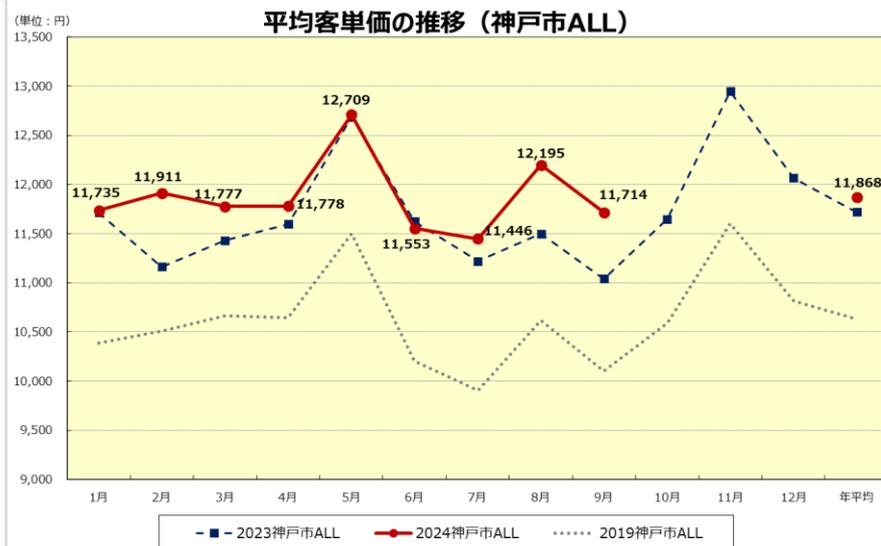
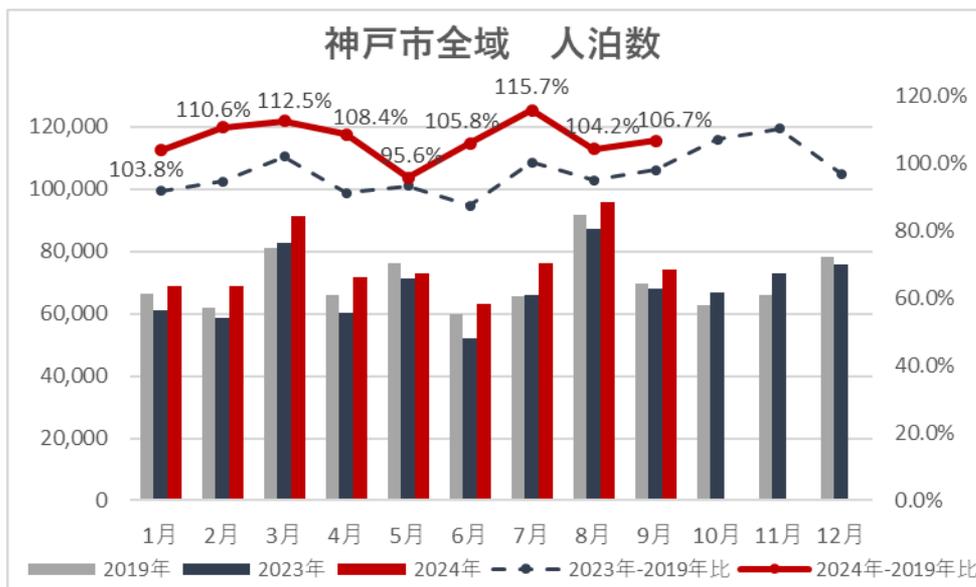
事業者向け

出典：観光庁「令和6年度第1次補正予算」より (11/29発表) → [こちら](#)

今月のトピックス②

市内宿泊の動向
(国内OTAデータ モニタリング 7~9月)

- 2024年7～9月は、神戸の国内観光におけるOTA実績について、**取扱額（＝人泊数×客単価）は堅調に推移**。
- 全エリア・クラスにおいて、**物価高騰等やインバウンド需要の高まりで客単価が上昇**。
- **人泊数**についてもコロナ前を超える水準となり、7～9月は、2019年比108%の回復となった。
- 全体的に1月、5月（GW）、8月（夏休み）が他の月と比較してコロナからの回復が鈍化。GWや夏休みなど、これまで国内旅行の繁忙期であった時期の動きが鈍くなっている原因はやはり宿泊単価の上昇によるものではないかと考えている。



人泊数
 2024年7～9月 2019年比：108.3%
 2024年1～9月 2019年比：106.8%

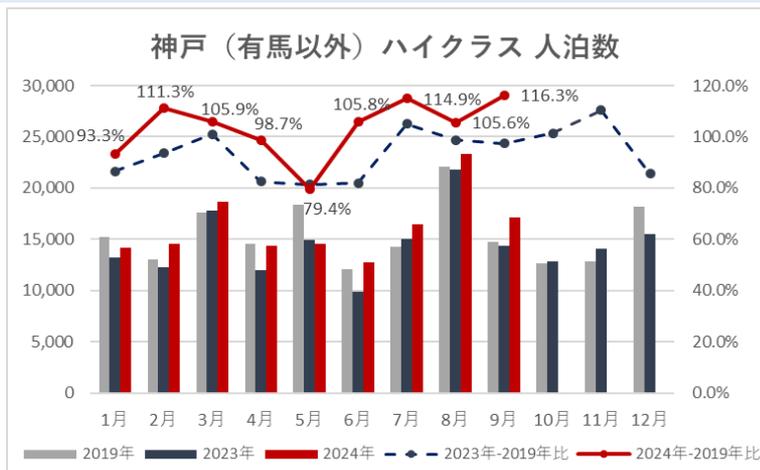
平均客単価
 2024年7～9月平均 2019年比：115.4%
 2024年1～9月平均 2019年比：113.0%

※OTAとは、「Online Travel Agent」の略称。オンライン上のみで旅行商品等を販売する旅行会社のこと。代表的な国内OTAは、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、JTBるぶトラベル等。上記で掲載しているデータは、某国内大手OTA経由の状況を掲載。神戸市内の宿泊施設 約150施設への月別データ（チェックアウトベース）となっている。よって、国内旅行者の全ての販路を集計しているわけではないが、特に平日のビジネス需要も含めた個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

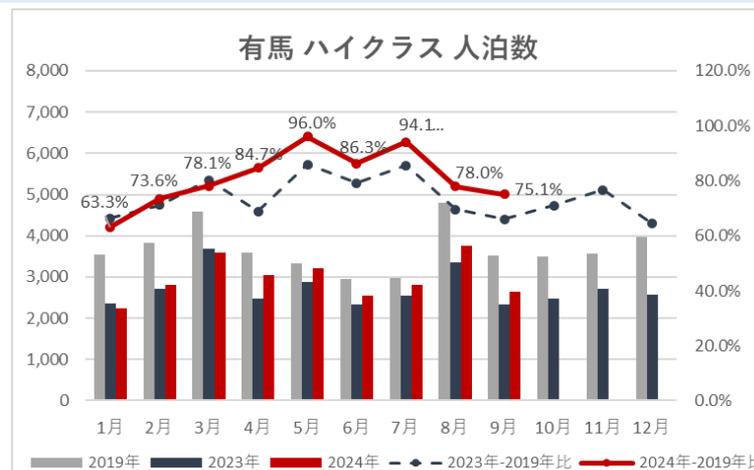
■ 人泊数は市街地ホテルが継続して2019年同月を上回る。

人泊数については、市街地は順調に回復し、コロナ前の110%の回復となった。

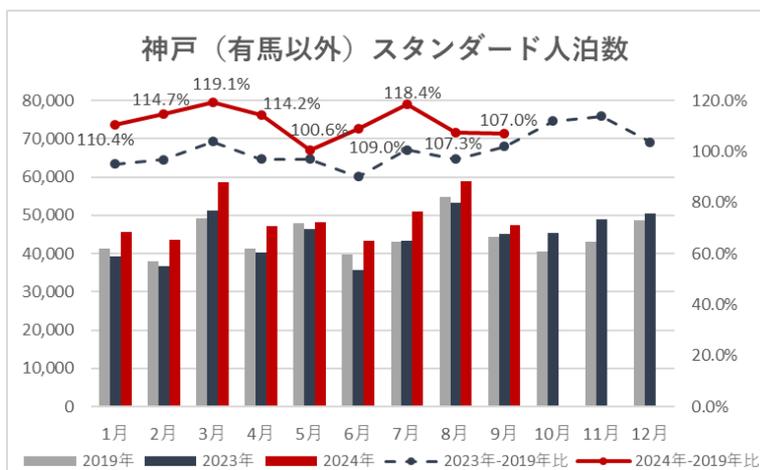
有馬はコロナ前の80～100%の回復となっている。有馬は当該国内OTAにおいて、宿泊単価が日本の温泉地で1位となっている。このことから、このグラフに含まれていないインバウンド旅行者が増加していると見られる。



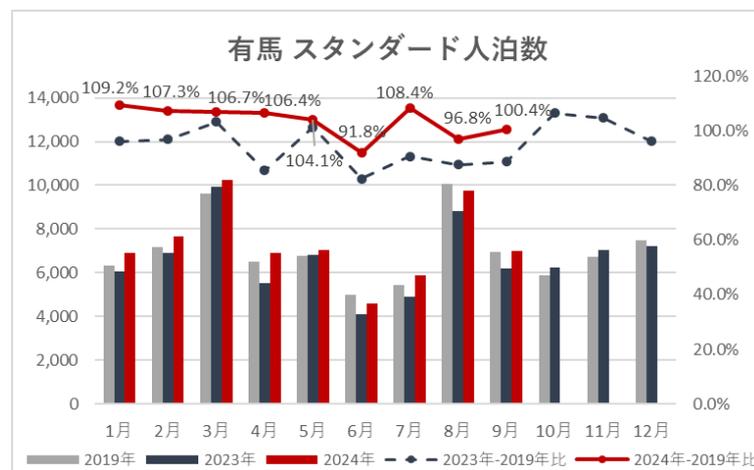
2024年7～9月 2019年比：111.3%



2024年7～9月 2019年比：81.3%



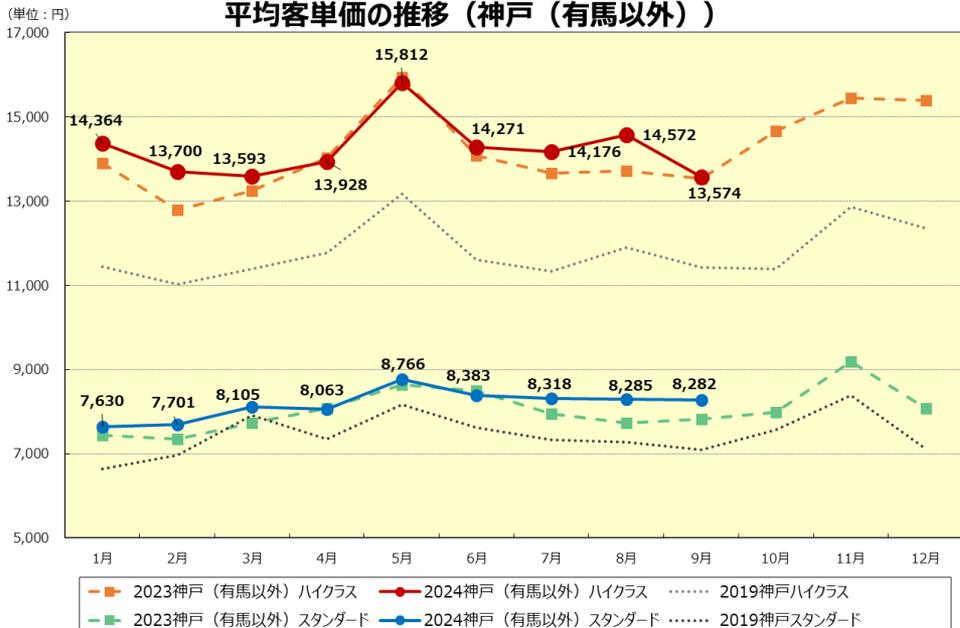
2024年7～9月 2019年比：110.6%



2024年7～9月 2019年比：100.7%

■ 高単価な状況が続いている（有馬以外）

平均客単価の推移（神戸（有馬以外））



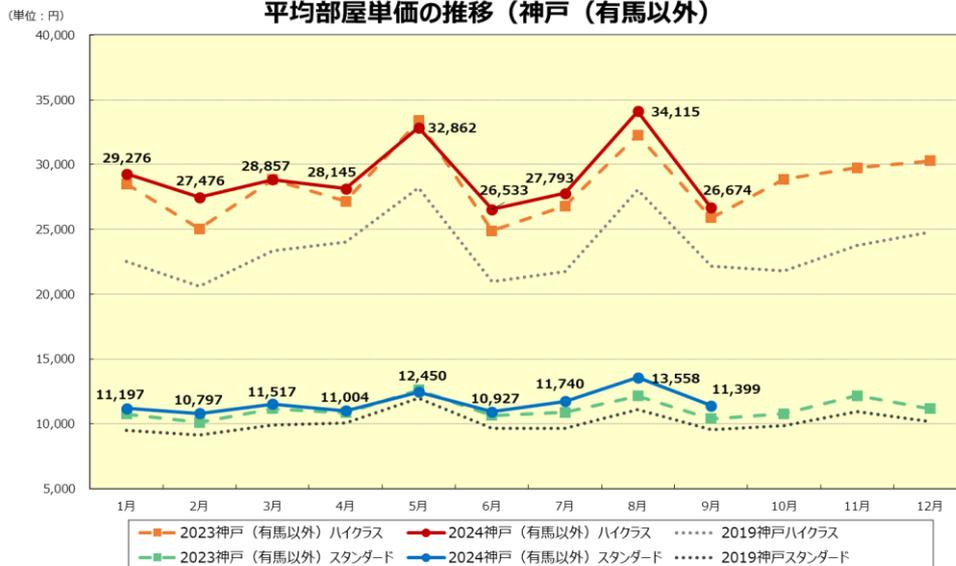
平均客単価の推移

- 物価高騰、人手不足などの影響もあり、平均単価の高止まりが続く。
- 2019年7～9月との比較では、2024年7～9月平均で見ると神戸ハイクラスで2019年比122%、スタンダードで2019年比115%となった。（1～6月の2019年比 ハイクラス：122%、スタンダード：109%）
- また、前年上半期との比較でも、神戸ハイクラス・スタンダードともに前年比約103～106%となっている。
- 特に夏休み（7月～8月）のハイクラスは、単価の上昇が伺える。一方、スタンダードは7～9月の単価は横ばいとなった。

平均部屋単価の推移

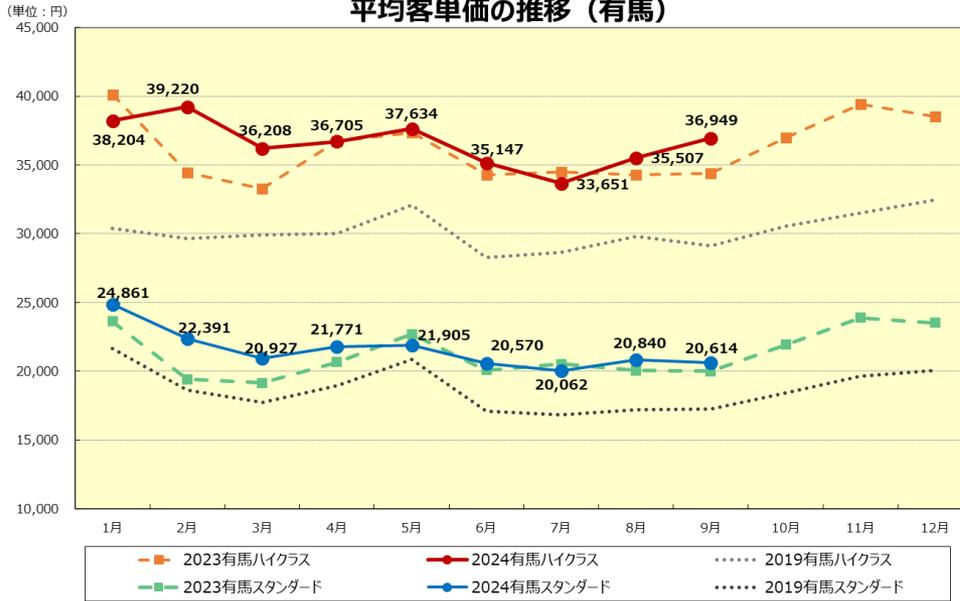
- 8月＝夏休みにグループサイズが大きくなった影響もあり、部屋単価が上昇傾向。
- 客単価も同様だが、スタンダードよりもハイクラスの方が、2019年と比較して単価の上昇が大きいことが分かる。

平均部屋単価の推移（神戸（有馬以外））



■ 高単価な状況が続いている（有馬）

平均客単価の推移（有馬）



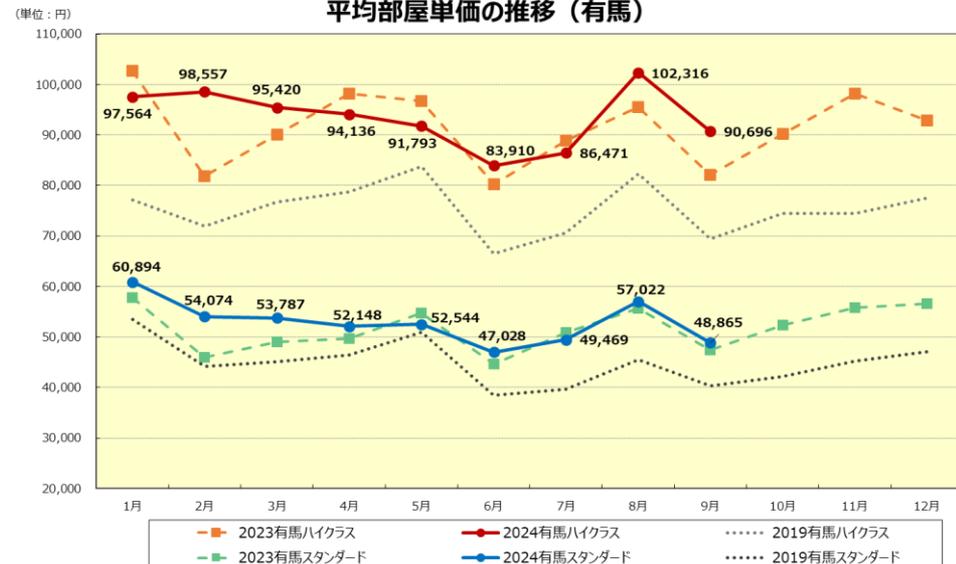
平均客単価の推移

- 物価高騰、人手不足などの影響もあり、平均単価の高止まりが続く。
- インバウンド需要の高まりからか、ハイクラスにおいては、7・8月よりも9月の方が単価が上昇。2019年と比較すると127%、前年と比較しても107%となった。スタンダードは前年とほぼ同水準で推移。
- 2019年との比較では、7～9月平均で見ると有馬ハイクラスで2019年比121%、スタンダードで2019年比120%となった。
- 前年上半期との比較では、有馬ハイクラスで前年比103%、有馬スタンダード102%となっている。

平均部屋単価の推移

- 有馬ハイクラスの部屋単価は、7～9月平均でも9.3万円台と高い状態が続いており、特にインバウンド需要の高まりからか、夏休み（8月）だけでなく9月も2019年、前年と比較して部屋単価が上昇。

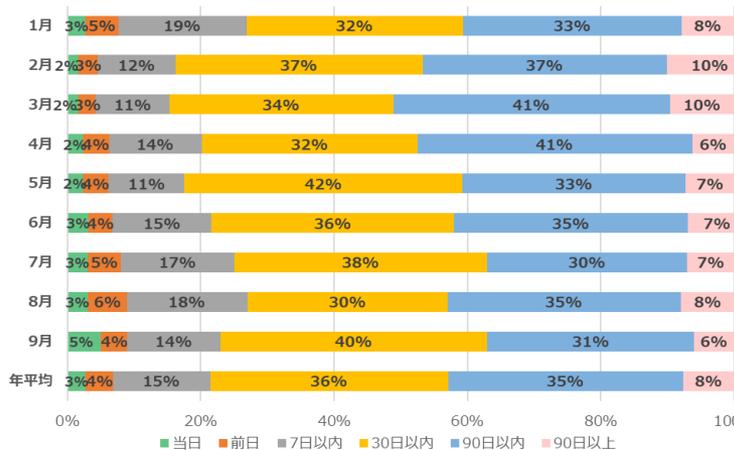
平均部屋単価の推移（有馬）



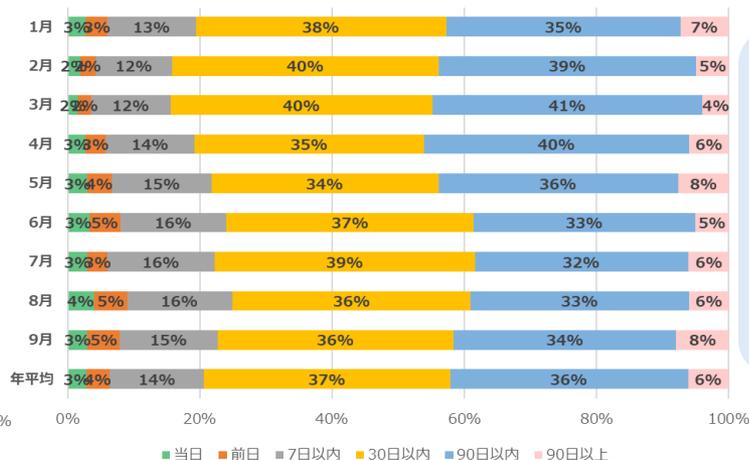
■ 引き続き予約のリードタイムは延伸傾向

【有馬エリア】

2024年 予約から宿泊までの日数 有馬 ハイクラス



2024年 予約から宿泊までの日数 有馬 スタンダード

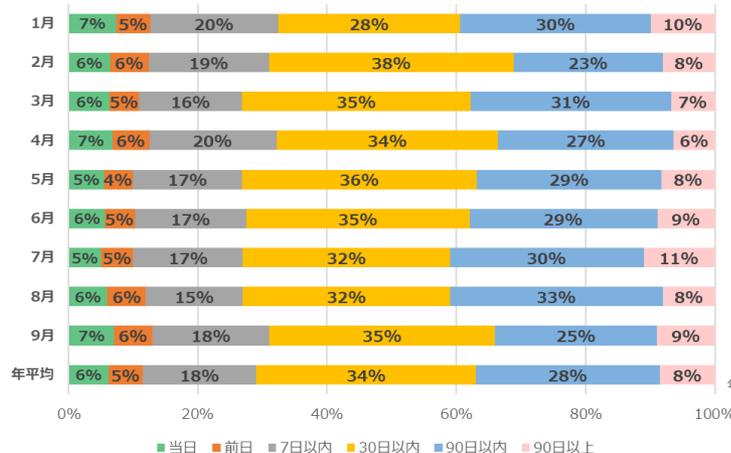


■ 8月末～9月初旬にかけての台風が影響して有馬ハイクラスで9月の当日予約が増加。
 ■ 全体的に2023年から延伸傾向であったリードタイムは、一定安定してきており、2019年とほぼ同水準まで戻っている。

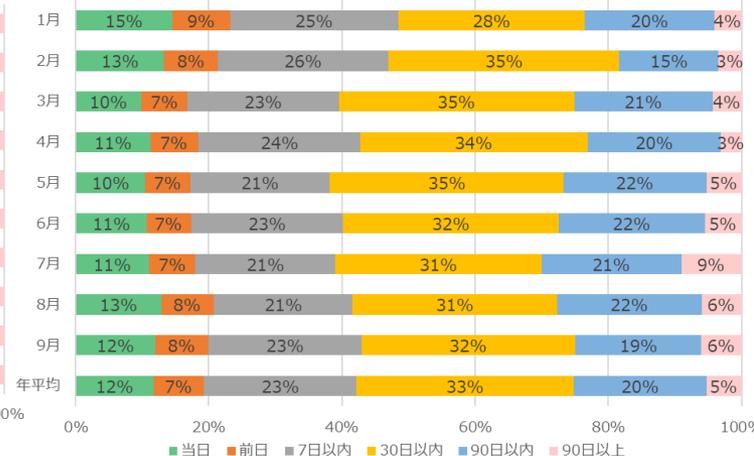
【神戸（有馬以外）エリア】

- 有馬以外のエリアでもハイクラスではリードタイムが2019年水準まで戻ってきている。
- 一方、スタンダードでは、いまだ当日・前日の比率も高い。

2024年 予約から宿泊までの日数 神戸（有馬以外）ハイクラス



2024年 予約から宿泊までの日数 神戸（有馬以外）スタンダード

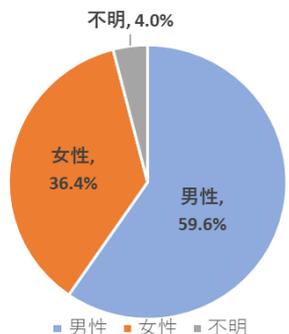


【神戸（有馬以外）エリア】

- 有馬以外の神戸市内においては、国内OTAが得意とする平日のビジネス客の傾向が強く出た形となった。
- 特にスタンダードにおいては、予約者の6割が男性、40～50歳代の年代が最も多かった。またスタンダードではグループサイズも1人が最も多くなった。
- 一方ハイクラスでは、男女比がほぼ半数ずつとなり、年代もスタンダードと比較すると均等になる。
グループサイズは2名、居住地は兵庫県内・大阪府が最も多くなった。

■ 性別・年代

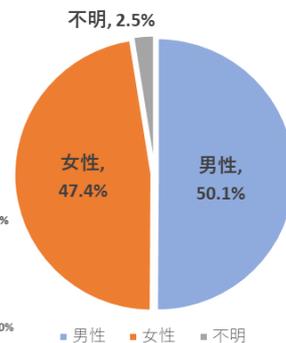
性別 7～9月平均(神戸スタンダード)



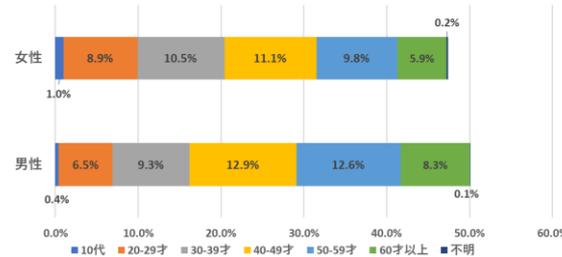
2024年7～9月 性別ごと年代 (神戸スタンダード)



性別 7～9月(神戸ハイクラス)



2024年7～9月 性別ごと年代 (神戸ハイクラス)



■ グループサイズ

【神戸スタンダード】

グループサイズ	1人	2人	グループ (3人以上)	ファミリー	女性のみの グループ
7-9月	57.0%	28.7%	5.8%	8.5%	21.0%
年間平均	59.6%	28.3%	5.5%	6.7%	20.9%

【神戸ハイクラス】

グループサイズ	1人	2人	グループ (3人以上)	ファミリー	女性のみの グループ
7-9月	23.0%	46.2%	12.0%	18.8%	18.4%
年間平均	24.6%	47.2%	11.9%	16.3%	18.5%

■ 予約者居住地

【神戸スタンダード】

7-9月平均		
順位	居住地	比率
1位	東京都	13.7%
2位	兵庫県	12.6%
3位	大阪府	7.5%
4位	神奈川県	6.5%
5位	愛知県	5.9%
6位	その他+不明	4.1%
7位	埼玉県	3.8%
8位	千葉県	3.7%
9位	広島県	3.4%
10位	福岡県	2.9%
10位まで合計		64.1%

【神戸ハイクラス】

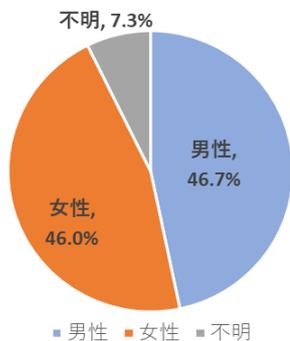
7-9月平均		
順位	居住地	比率
1位	兵庫県	14.0%
2位	大阪府	12.2%
3位	東京都	10.2%
4位	愛知県	6.8%
5位	神奈川県	4.3%
6位	京都府	4.0%
7位	その他+不明	3.6%
8位	岡山県	3.5%
9位	広島県	3.4%
10位	千葉県	2.4%
10位まで合計		64.4%

【有馬エリア】

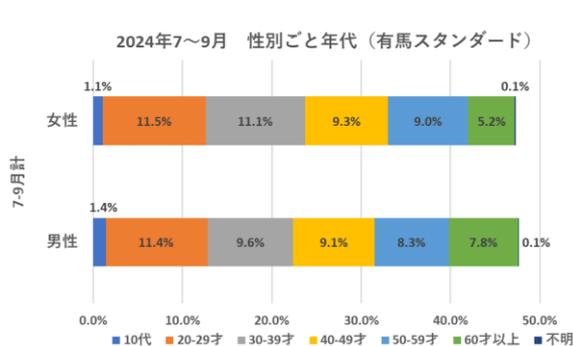
- 有馬エリアにおいては、神戸（有馬以外）エリアと異なり、クラス関係なく男女比はほぼ半数ずつであり、大阪府からの予約者が最も多くなった。
- クラスごとに見ていくと、スタンダードにおいては、男女ともにより若年層の割合が高くなり、ハイクラスに比べて女性のみグループの割合が高くなった。
- 一方ハイクラスでは、30代以上の割合が均等に分布しており、かつ2人やグループでの予約が多く入る傾向が見られた。

■ 性別・年代

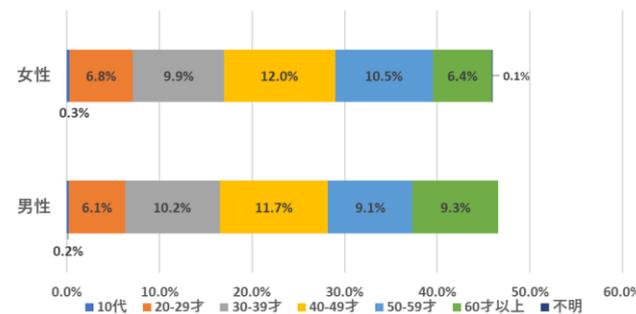
性別 7～9月平均(有馬ハイクラス)



性別 7～9月平均(有馬スタンダード)



2024年7～9月 性別ごと年代 (有馬ハイクラス)



■ グループサイズ

【有馬スタンダード】

グループサイズ	1人	2人	グループ (3人以上)	ファミリー	女性のみ のグループ
7-9月平均	10.1%	50.4%	19.6%	19.9%	15.1%
年間平均	9.5%	54.5%	20.2%	15.8%	17.5%

【有馬ハイクラス】

グループサイズ	1人	2人	グループ (3人以上)	ファミリー	女性のみ のグループ
7-9月	3.8%	54.1%	22.7%	19.3%	11.2%
年間平均	3.7%	57.1%	24.4%	14.7%	13.3%

■ 予約者居住地

【有馬スタンダード】

7-9月平均		
順位	居住地	比率
1位	大阪府	18.6%
2位	兵庫県	12.7%
3位	愛知県	8.3%
4位	東京都	6.9%
5位	その他+不明	5.7%
6位	京都府	4.7%
7位	神奈川県	3.6%
8位	広島県	3.4%
9位	岡山県	3.0%
10位	奈良県	2.5%
10位まで合計		69.4%

【有馬ハイクラス】

7-9月平均		
順位	居住地	比率
1位	大阪府	21.7%
2位	兵庫県	13.1%
3位	その他+不明	8.9%
4位	愛知県	7.7%
5位	東京都	6.4%
6位	京都府	4.5%
7位	奈良県	3.2%
8位	広島県	2.9%
9位	神奈川県	2.8%
10位	岡山県	2.8%
10位まで合計		74.0%

今月のトピックス③

神戸観光局SNS情報



今年の1月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

観光スポット編

1月
神戸ルミナリエ
開催が話題

↑ いいね数 順位

2024年1月



2024/1/20



2024/1/29



2024/1/17



2024/1/12



2024/1/4

2024年1月は、4年ぶりに本格開催した「神戸ルミナリエ」の開催初日の賑わいを紹介したコンテンツに「いいね」が集中した。
1位⇒1/19～1/28まで開催した「神戸ルミナリエ」がダントツの**1位**。東遊園地、メリケンパーク、旧居留地の3か所で開催した初日の様子を翌20日に投稿。趣向を凝らした荘厳なルミナリエ作品の動画投稿に非常に多くの「いいね」が集まりました。
2位⇒「グリコピア神戸」の工場見学を動画で紹介。工場見学だけでなくビスコの手作り体験など、大人も子供も楽しめる様子を紹介したコンテンツ。
3位⇒神戸の絶景パワースポット「五色塚古墳」（垂水区）の紹介動画。古墳を登ると明石海峡大橋や淡路島も一望できる絶景も魅力のパワースポット。
4位⇒「有馬でパワースポットめぐり」。有馬の三社（温泉神社・有馬天神社・水天宮）を巡るとご利益があるとされていることを紹介したコンテンツ。
5位⇒「ひょうご五国ワールド神戸三宮横丁」を紹介。兵庫五国（但馬・播磨・摂津・丹波・淡路）の海の幸・山の幸を同時に楽しめるエリアとして紹介。

その他の投稿

初詣にいかがですか？



神戸の神社・仏閣4選



①生田神社



②北野天満神社



③摩耶山天上寺



④須磨寺

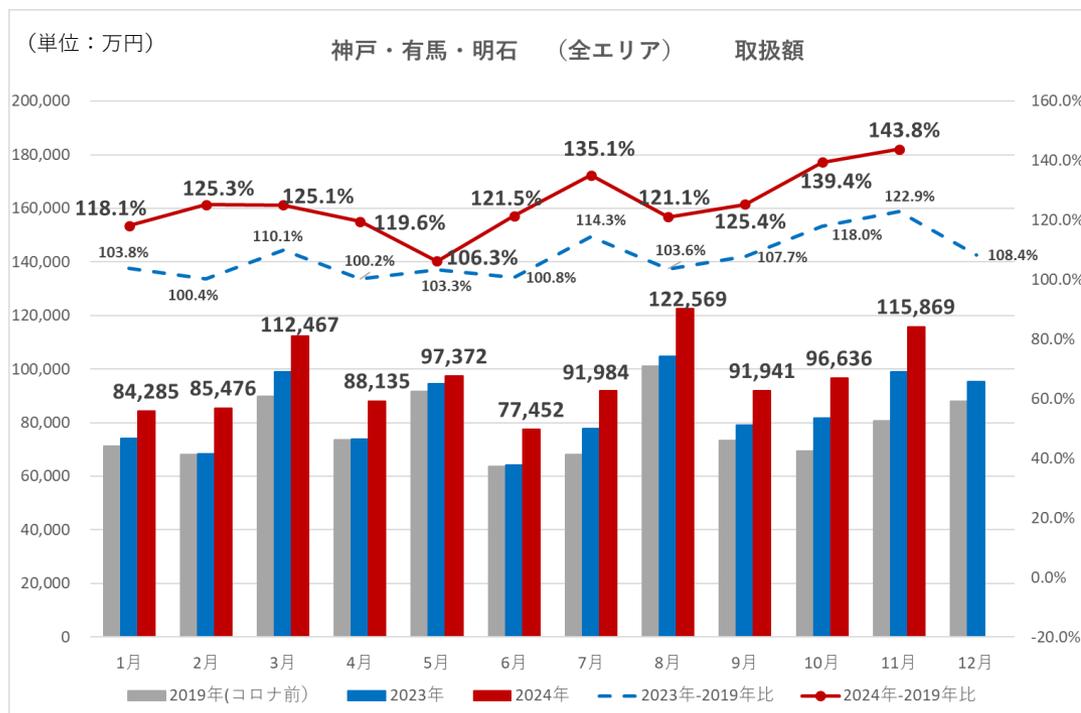
市内宿泊の動向

国内OTAデータ モニタリング速報

11月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比 143.8%、人泊数：121.8%、単価：118.1%。

- ▶ エリア別にみると有馬では、2019年比で客単価が高い状態が続く。なお、本国内OTA上では、有馬の客室平均単価は、現在温泉エリアで日本一。そのため、有馬にあっては、単価の上昇から国内旅行者よりもインバウンドに選ばれやすくなってきている傾向がある。11月は紅葉シーズンに入り、気候が良くなったため2019年同月比111%まで回復。（コロナ禍が明けてから本OTA上で有馬の人泊数が2019年比110%超となるのは初）
- ▶ 市街地は11月のデータ上、単価の伸びが止まらず、2019年同月比1.2倍。また人泊数も2019年同月比1.2倍。
※2019年11月はラグビーWCが開催されていた時期ではあるが、神戸市での試合は2019年10月で終了。
- ▶ 国内OTAのデータということもあり、全市データは、市街地のいわゆるビジネス利用者／長期休暇にはファミリー層の影響が出やすい。

【取扱額実績】



【エリア別・2019年同月比】

	9月	10月	11月
全市			
取扱額	125.4% (107.7%)	139.4% (118.0%)	143.8% (122.9%)
人泊数	107.9% (99.5%)	115.6% (108.0%)	121.8% (110.5%)
単価	116.2% (108.3%)	120.6% (109.3%)	118.1% (111.2%)
市街地			
取扱額	123.1% (110.1%)	141.0% (121.2%)	145.4% (123.2%)
人泊数	103.9% (99.7%)	114.2% (112.1%)	123.2% (111.2%)
単価	118.5% (110.5%)	123.5% (108.1%)	118.1% (110.7%)
有馬			
取扱額	109.1% (91.7%)	122.5% (107.2%)	135.3% (113.3%)
人泊数	91.9% (81.0%)	105.0% (93.2%)	111.2% (94.9%)
単価	118.7% (113.1%)	116.7% (115.0%)	121.7% (119.4%)

黒太字は2024年-2019年比

()内は同時点の前年(2023年)-2019年比

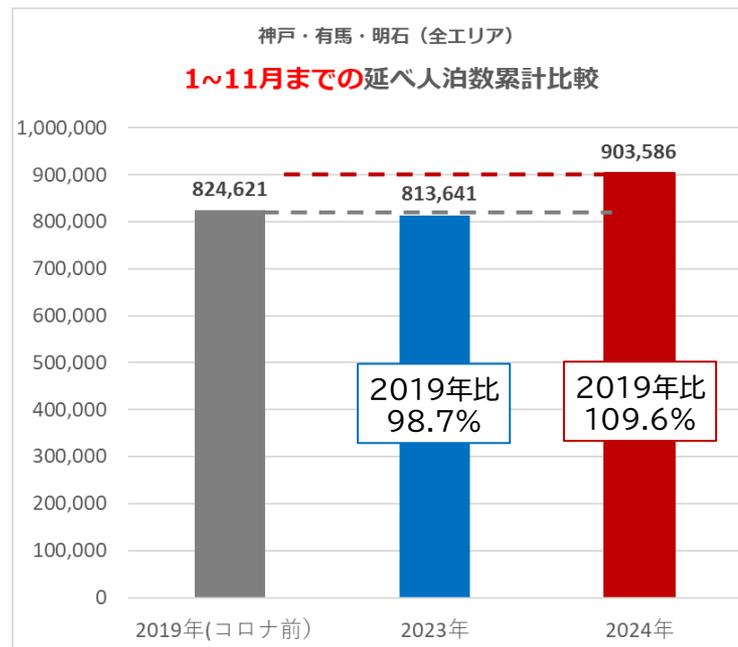
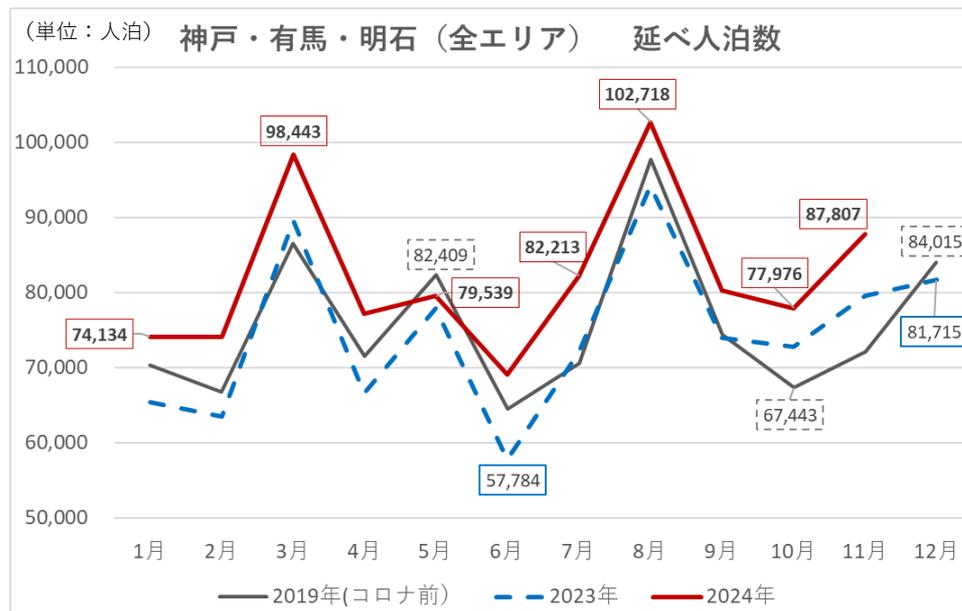
※「市街地」：三宮・ポートアイランド・元町・メリケンパークのエリアを抽出

【OTAデータの特徴】

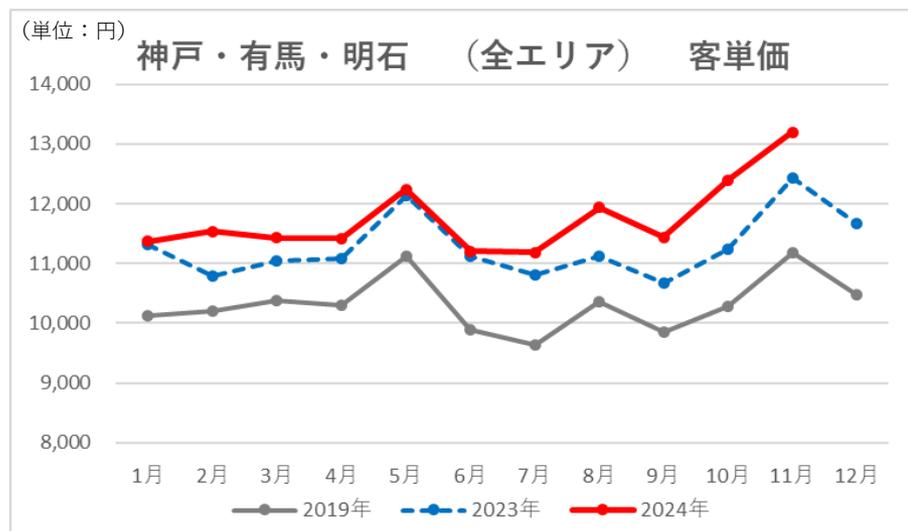
OTAとは、「Online Travel Agent」の略称。オンライン上のみで旅行商品等を販売する旅行会社のこと。代表的な国内OTAは、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、JTBるるぶトラベル等。近年は、国内でも、国内OTAに加え、海外OTA (booking.com、Expedia、agoda、Trip.com等) を利用する旅行者も増えている。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用(予約)が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアの国内OTAの利用者数は1368万人(対前年比177%)と成長している。一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店(リアルエージェント)からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直接予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、某国内大手OTA経由の状況を掲載。神戸市内の宿泊施設 約150施設への月別データ(チェックアウトベース)となっている。よって、国内旅行者の全ての販路を集計しているわけではないが、特に平日のビジネス需要も含めた個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

【延べ人泊数 実績】



【平均客単価 実績】



【2024年】

- ・5月はGWに苦戦したという声があったものの、6月以降は人泊数・単価ともに2019年を上回った。
- ・今年のGWの傾向から、全国的な訪日需要の高まりから宿泊単価が上がっており、国内旅行者の動きが、単価が高く、かつ人出の多くなる時期を避けた旅行へシフトしつつあることも考えられる。
- ・9・10月は2019年同月より人泊数がかなり回復したように見えるが、2019年9・10月ラグビーWCが開催されていた時期であるため、インバウンド増加に伴い相対的に国内旅行者が減少していたためと考えられる。
- ・11月は人泊数が87,807人泊と、2019年11月と比較して約2割増加。2019年のラグビーWCは神戸での試合は終了しているため、この11月は、純粋にコロナ前より人泊数が伸びていることが分かる。
- ・気候も良くなり、紅葉シーズンに入ったことから、旅行者も増加。単価も、初めて平均13,000円超となるなど伸びが続く。

【予約情報：① 予約スピード】

【神戸市】〔取扱額〕

神戸 有馬 明石		12月	1月	2月	3月	4月	5月
予約 スピード	2019年度比 (12.08時点)	149.9%	182.4%	204.4%	247.9%	238.7%	187.4%
	2023年度比 (12.08時点)	124.5%	138.6%	121.5%	137.8%	160.7%	144.5%

有馬		12月	1月	2月	3月	4月	5月
予約 スピード	2019年度比 (12.08時点)	130.2%	146.9%	182.8%	212.6%	248.3%	223.6%
	2023年度比 (12.08時点)	129.0%	136.6%	110.4%	141.9%	131.2%	219.8%

三ノ宮・ポートアイランド +元町・メリケンパーク		12月	1月	2月	3月	4月	5月
予約 スピード	2019年度比 (12.08時点)	146.8%	197.3%	192.0%	237.0%	190.8%	157.6%
	2023年度比 (12.08時点)	119.3%	140.5%	123.6%	127.3%	168.7%	127.6%

【参考：他エリア比較】〔取扱額〕

淡路島		12月	1月	2月	3月	4月	5月
予約 スピード	2019年度比 (12.08時点)	163.2%	175.1%	237.8%	278.2%	282.3%	299.6%
	2023年度比 (12.08時点)	121.9%	110.7%	111.0%	125.2%	111.9%	107.2%

城崎		12月	1月	2月	3月	4月	5月
予約 スピード	2019年度比 (12.08時点)	114.0%	139.7%	166.4%	233.8%	329.3%	242.3%
	2023年度比 (12.08時点)	110.4%	114.0%	103.4%	121.5%	143.7%	173.3%

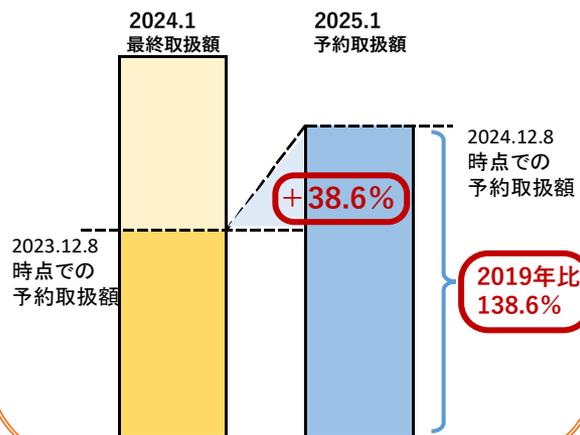
大阪市エリア		12月	1月	2月	3月	4月	5月
予約 スピード	2019年度比 (12.08時点)	192.3%	190.8%	250.5%	303.7%	495.6%	574.1%
	2023年度比 (12.08時点)	120.3%	120.7%	130.6%	134.2%	207.4%	403.0%

京都市エリア		12月	1月	2月	3月	4月	5月
予約 スピード	2019年度比 (12.08時点)	170.8%	169.5%	201.0%	192.7%	240.5%	161.5%
	2023年度比 (12.08時点)	121.8%	117.9%	113.0%	108.6%	150.9%	134.8%

東京23区エリア		12月	1月	2月	3月	4月	5月
予約 スピード	2019年度比 (12.08時点)	159.6%	206.3%	238.2%	288.2%	274.4%	108.3%
	2023年度比 (12.08時点)	109.3%	129.3%	123.4%	158.5%	154.8%	169.9%

国内OTA 予約データの見方①

(例) 全市 2025年1月



このページは、国内OTA予約データの、**予約のスピード感を確認するデータ**です。

■引き続き12月以降の予約スピードが好調。2025年2月が2024年2月と比較して1.2倍。2024年2月は春節による需要の増加、更には同OTA内での宿泊需要促進キャンペーンを実施していたが、当時より更に予約スピードが増している。

【予約情報：②過去の最終実績と現在の取扱額の比較】

【神戸市】〔取扱額〕

神戸 有馬 明石		12月	1月	2月	3月	4月	5月
最終実績との比較	2019年度比 (12.08時点)	121.6%	82.1%	37.0%	35.7%	10.8%	5.3%
	2023年度比 (12.08時点)	112.2%	73.6%	28.0%	15.1%	10.7%	5.1%

有馬		12月	1月	2月	3月	4月	5月
最終実績との比較	2019年度比 (12.08時点)	118.4%	72.3%	29.9%	20.1%	6.8%	5.2%
	2023年度比 (12.08時点)	122.8%	78.5%	26.6%	13.8%	7.6%	4.9%

三ノ宮・ポートアイランド +元町・メリケンパーク		12月	1月	2月	3月	4月	5月
最終実績との比較	2019年度比 (12.08時点)	115.3%	87.3%	41.3%	58.0%	15.0%	6.2%
	2023年度比 (12.08時点)	105.5%	71.9%	29.6%	16.5%	13.6%	6.0%

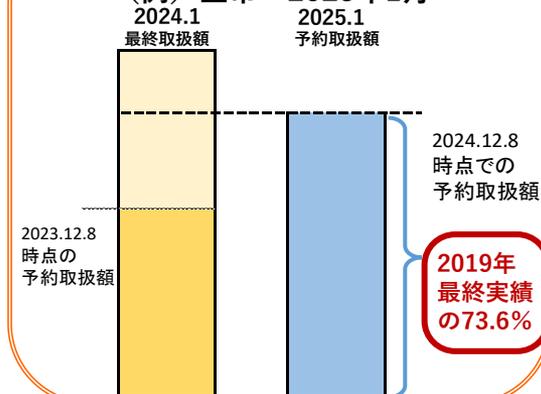
淡路島		12月	1月	2月	3月	4月	5月
最終実績との比較	2019年度比 (12.08時点)	141.1%	91.1%	42.2%	27.7%	10.4%	6.6%
	2023年度比 (12.08時点)	114.6%	70.1%	33.1%	17.3%	9.4%	5.0%



このページは、国内OTA予約データについて、**現在の取扱額と、2019年や前年の同月最終実績を比較するデータ**です。

国内OTA予約データの見方②

(例) 全市 2025年1月

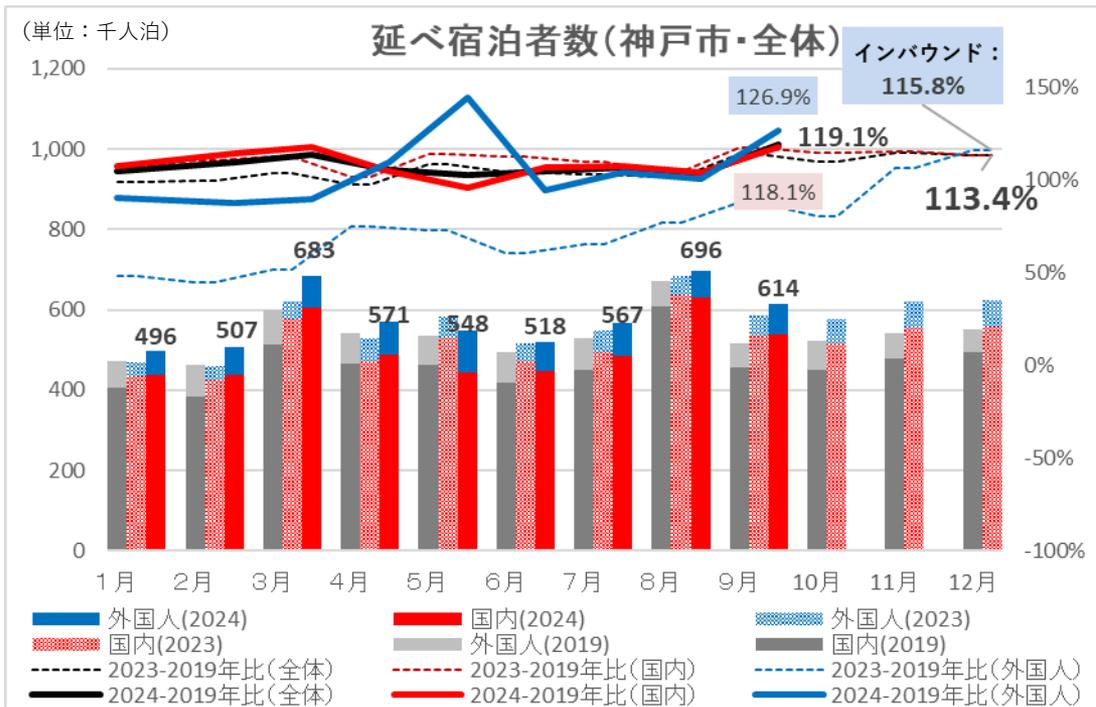


■12月の予約取扱額はすでに前年も2019年も超えている。各月最終実績との比較でも1月も2024年1月の73%まで取扱額が伸びている。(例：2024/8/18の時点で、2024.9 最終実績と2023.9実績の比較：62.6%。この数値と比較すると1月は全市で73%と一定取扱額が確保できている)

市内宿泊の動向②

延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率

【神戸市・全体】



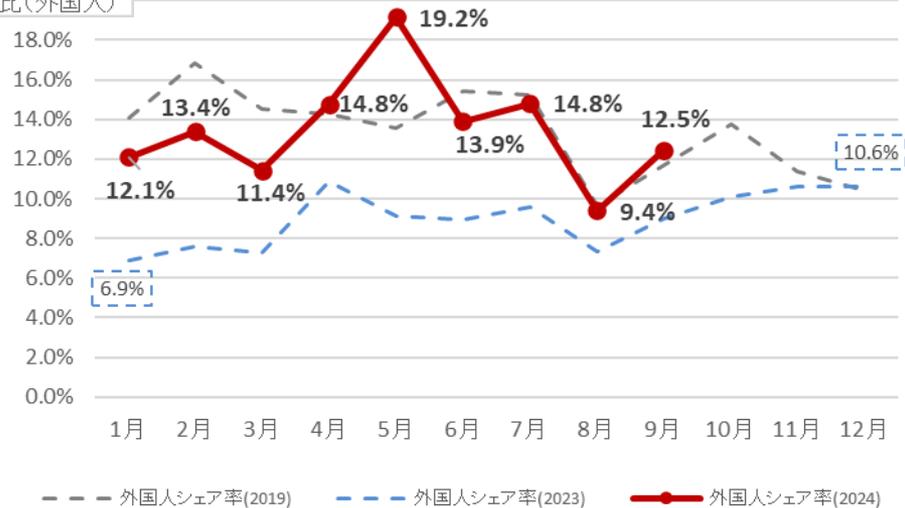
傾向・分析

9月は全体(国内・インバウンドの合計)でコロナ前の119%。国内がコロナ前の118%、インバウンドは127%

- 神戸市全体延べ宿泊者数は1月以降コロナ前を超えて回復。全体に占めるインバウンドのシェア率は4月以降、2019年並みに回復。
- ただしコロナ前と比較すると客室数が増えているエリアもあり、市内の稼働率を回復させるためにも、更なる誘客を考えていく必要がある。
- 9月はインバウンドがコロナ前の1.3倍近くにまで伸びた。国内も1.2倍近くまで回復。

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

延べ宿泊者数(神戸・外国人シェア率)



出典：【神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」
・令和6年9月 第2次速報値
※ 神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

(参考)

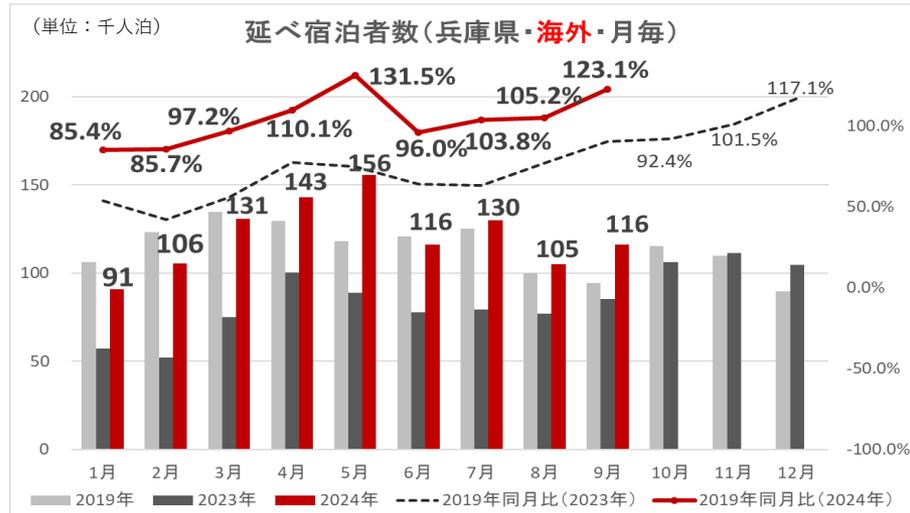
兵庫県	コロナ前比	121.4% (9月)
全国	コロナ前比	110.1% (9月)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド分析①】

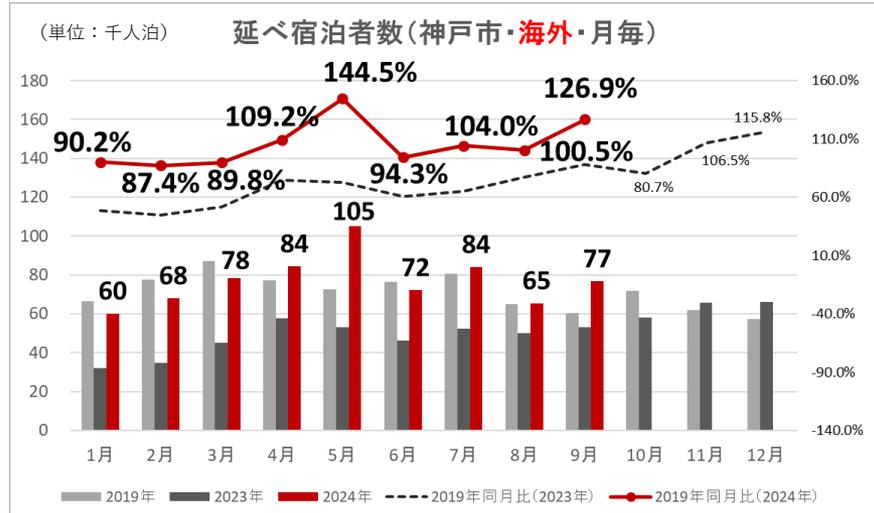
神戸 全国 外国人



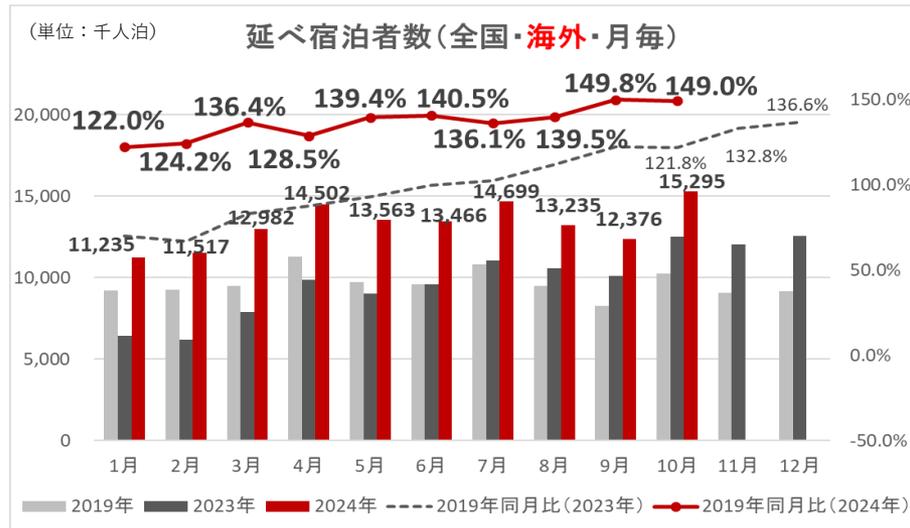
【兵庫県】



【神戸市】



【全国】



9月の傾向・分析

神戸市	コロナ前比	126.9% (9月)
兵庫県	コロナ前比	123.1% (9月)
全国	コロナ前比	149.8% (9月)

※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較



神戸：9月はコロナ前の127%となった。

■ 神戸観光局の独自試算では、**神戸市**の回復率(コロナ前比)は**9月が126.9%**となり、コロナ前(2019年)水準を超えた。市内ホテルからは、夏以降中国からの宿泊者が増加傾向との報告もある。

出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」

・令和6年9月 第2次速報値

・令和6年10月 第1次速報値

※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

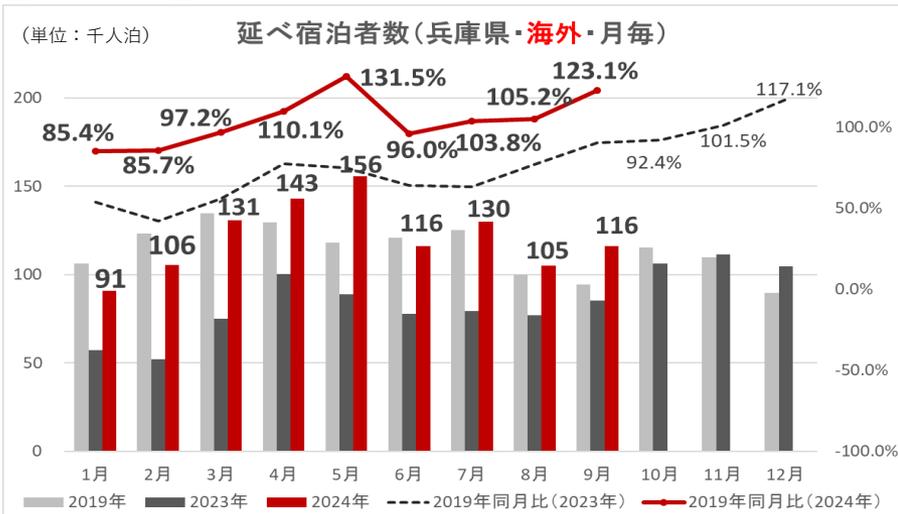
延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド分析②(周辺比較)】

関西

外国人



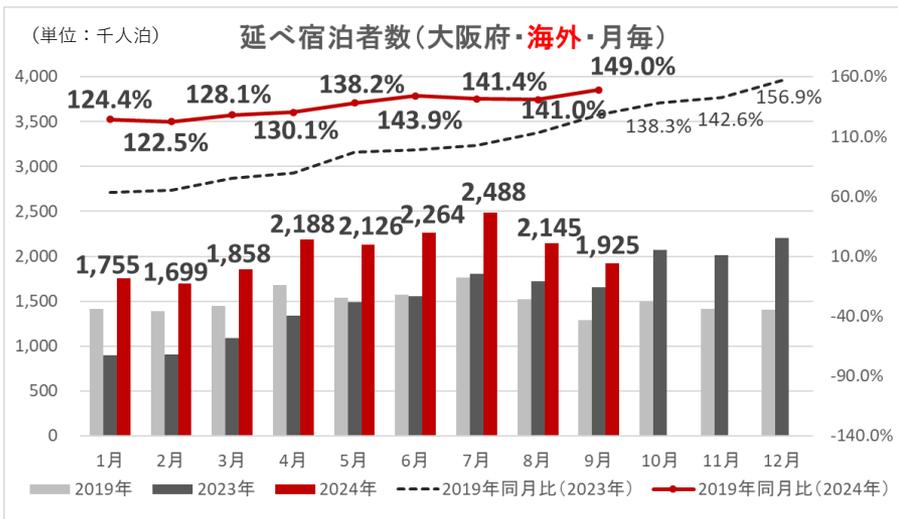
【兵庫県】



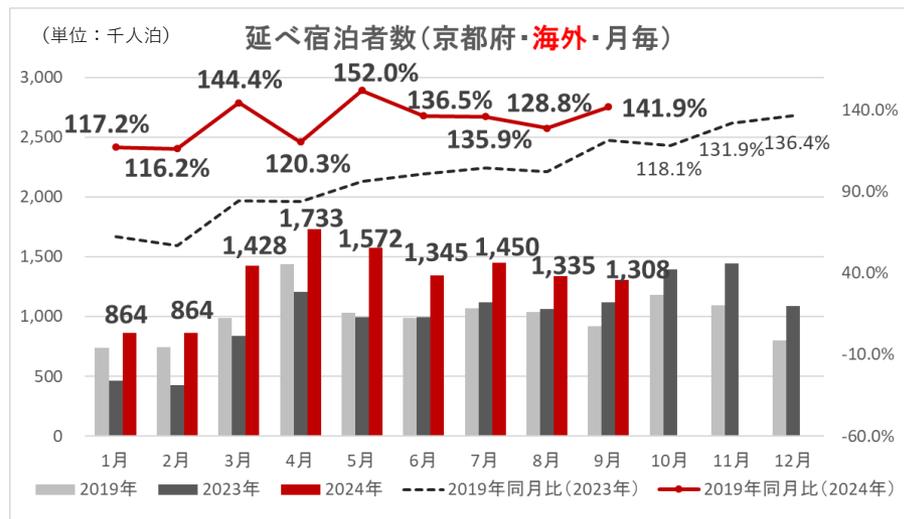
9月の傾向・分析

兵庫県	コロナ前比	123.1% (9月)
大阪府	コロナ前比	149.0% (9月)
京都府	コロナ前比	141.9% (9月)

【大阪府】



【京都府】



出典：【兵庫県・大阪府・京都府】観光庁「宿泊旅行統計調査」
・令和6年9月 第2次速報値

[👉 全国・周辺エリアの国籍分析は次ページへ](#)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕 国籍分析

全国 関西 外国人



【全国】

全国	9月		2019年同月比
		シェア	
第1位	中国	20.2%	86.9%
第2位	韓国	13.0%	384.0%
第3位	台湾	12.7%	131.7%
第4位	米国	10.3%	174.3%
第5位	オーストラリア	4.9%	173.8%
第6位	香港	4.8%	108.5%
第7位	英国	2.4%	94.9%
第8位	ドイツ	2.1%	205.9%
第9位	カナダ	2.0%	221.4%
第10位	シンガポール	2.0%	151.2%

9月の傾向・分析

中国・英国以外の国はコロナ前を超える。中国もコロナ前水準の近くまで回復。

■ **全国**:1位:中国、2位:韓国、3位:台湾。

上位5カ国・地域で全体の61.1%を占める。米国・オーストラリアが4・5位にランクイン。

北米・豪州が引き続きコロナ前の2倍近い水準を維持し続けている。

■ **兵庫県**:第1位:中国、第2位:台湾、第3位:韓国。中国・台湾だけで48.4%を占める。

■ **大阪府**:第1位:中国、第2位:韓国、第3位:台湾。2位は引き続き韓国がランクイン。

■ **京都府**:第1位:中国、第2位:米国、第3位:台湾。米国好調の影響を関西で最も受けている。

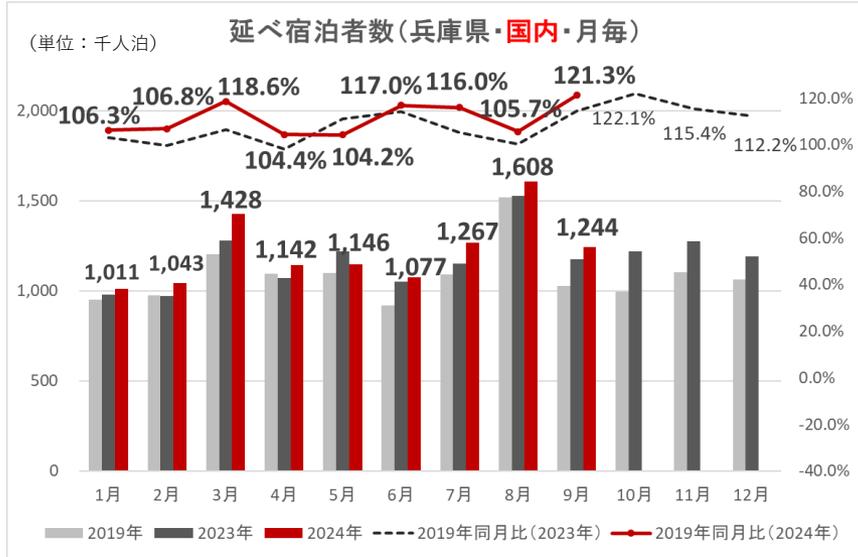
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」・令和6年9月 第2次速報値

兵庫県	9月	
		シェア
第1位	中国	30.3%
第2位	台湾	18.1%
第3位	韓国	10.2%
第4位	米国	6.2%
第5位	香港	5.1%
第6位	オーストラリア	2.9%
第7位	ドイツ	2.4%
第8位	英国	2.3%
第9位	シンガポール	1.7%
第10位	フランス	1.7%

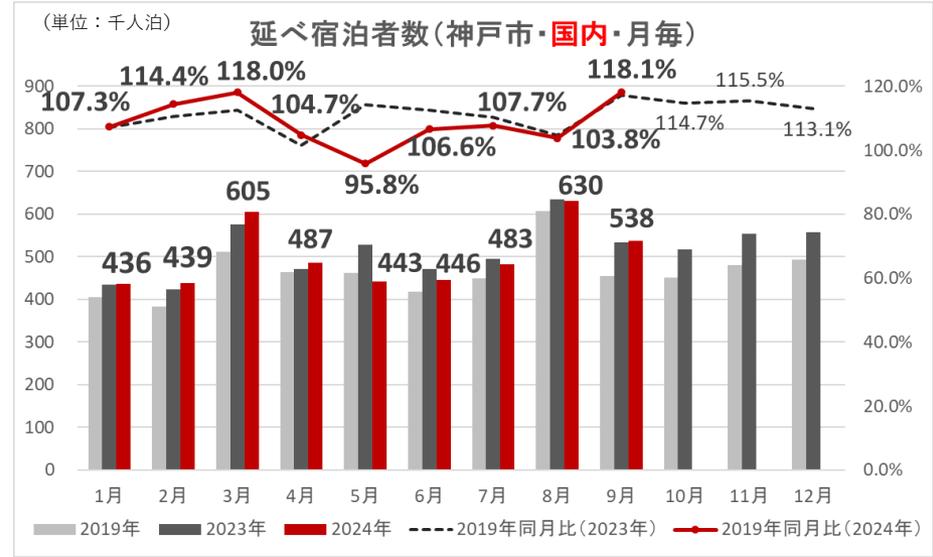
大阪府	9月	
		シェア
第1位	中国	29.1%
第2位	韓国	16.2%
第3位	台湾	10.5%
第4位	米国	5.5%
第5位	オーストラリア	4.6%
第6位	香港	4.0%
第7位	シンガポール	1.8%
第8位	カナダ	1.7%
第9位	ドイツ	1.6%
第10位	英国	1.6%

京都府	9月	
		シェア
第1位	中国	21.5%
第2位	米国	12.2%
第3位	台湾	8.7%
第4位	オーストラリア	6.0%
第5位	韓国	4.7%
第6位	スペイン	3.9%
第7位	英国	3.4%
第8位	ドイツ	3.3%
第9位	イタリア	3.3%
第10位	フランス	2.7%

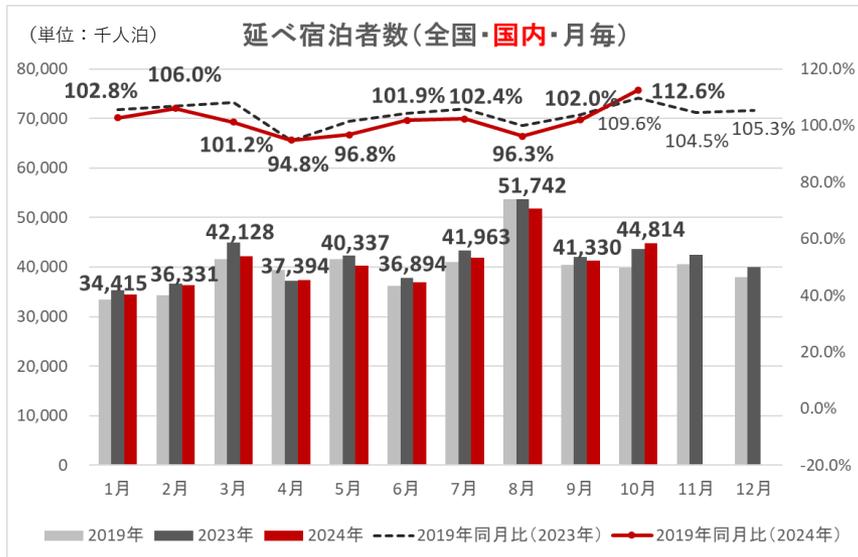
【兵庫県】



【神戸市】



【全国】



9月の傾向・分析

神戸市	コロナ前比	118.1% (9月)
兵庫県	コロナ前比	121.3% (9月)
全国	コロナ前比	102.0% (9月)

※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較

神戸：国内は2019年比 118.1%

- 9月は初旬、台風の影響があったものの、3連休が2回あったことからコロナ前(2019年)を超える水準となった。

出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」

・令和6年9月 第2次速報値

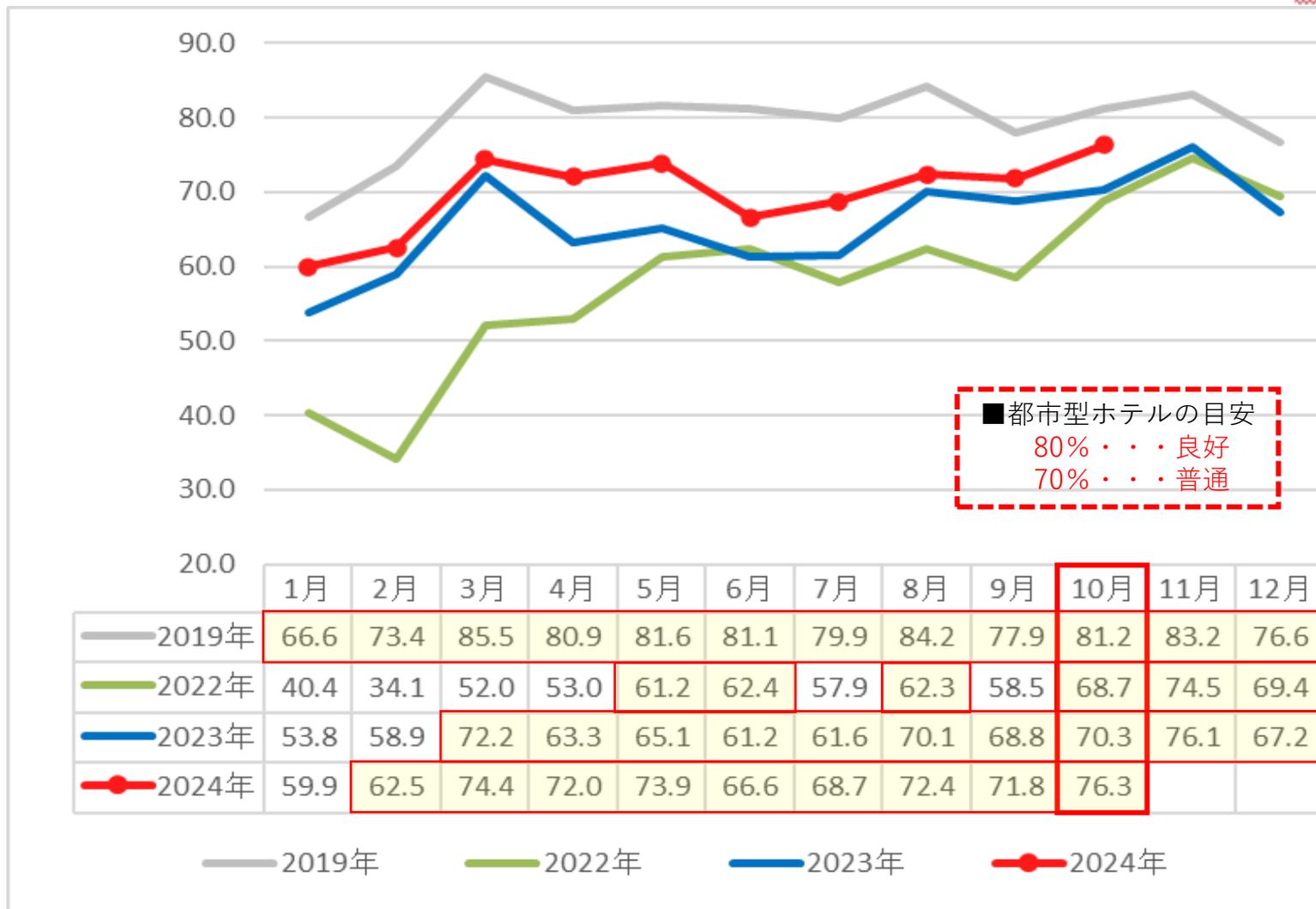
・令和6年10月 第1次速報値

※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

市内ホテル平均稼働率

神戸

神戸観光局



※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表
10月 国内ホテル稼働率

全国：81.7%
(前月比 ±6.0pt)

国内ホテルの10月の平均客室単価は前年同月比18.3%高い2万2171円だった。欧米やオーストラリアなどからの長距離旅行者やビジネス目的の滞在者が増え、単価を押し上げた。STRが国内の約2000のホテルを対象に調べた。本格的に調査を始めた2000年以降の高値だった2024年8月(2万2047円)を上回った。国内ホテルの稼働率は前年同月比3.3pt増の81.7%だった。80%台を回復するのはコロナ禍前の19年11月以来、4年11カ月ぶり。訪日客が単価上昇をけん引する構図は当面続きそうだ。前年同月比2桁増は22年1月から2年10カ月続く。STRの桜井詩織マネージャーは「ここまで続くのは世界的にも珍しい」と指摘。訪日客の需要の強さを支えに「単価の2桁増は25年春ごろまで続きそうだ」とみる。

全国のインバウンドに関する情報

訪日外客数

2024年月別訪日外客数(対2019年比)

全国 外国人

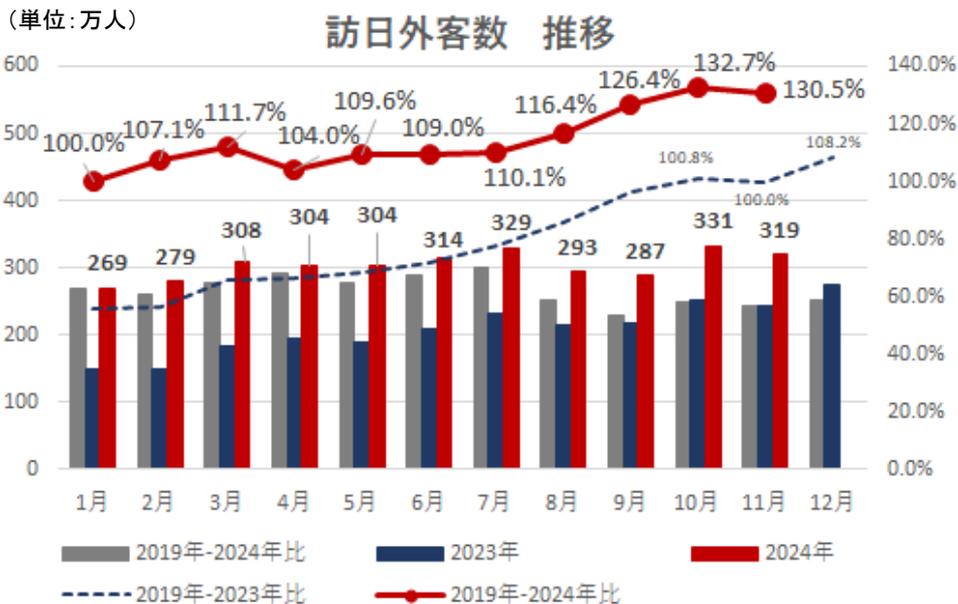


訪日外客数(全国)			
	2019	2024	2019比
9月	2,272,883名	2,872,487名	126.4%
10月	2,496,568名	3,312,000名	132.7%
11月	2,441,274名	3,187,000名	130.5%

・11月の訪日外客数は、3,187,000人で、前年同月比では30.6%増、2019年同月比では30.5%増と、同月として過去最高を記録した。また、11月までの累計は33,379,900人となり、これまでの過去最高であった2019年の年間累計を上回り、過去最多となった。

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2024	伸率 Change %
1	2,689,339	2,688,478	0.0
Jan.	(2,345,029)	(2,386,640)	(1.8)
2	2,604,322	2,788,224	7.1
Feb.	(2,341,479)	(2,548,085)	(8.8)
3	2,760,136	3,081,781	11.7
Mar.	(2,411,650)	(2,771,105)	(14.9)
4	2,926,685	3,043,003	4.0
Apr.	(2,640,569)	(2,763,384)	(4.7)
5	2,773,091	3,040,294	9.6
May	(2,455,865)	(2,758,219)	(12.3)
6	2,880,041	3,140,642	9.0
Jun.	(2,614,533)	(2,913,631)	(11.4)
7	2,991,189	3,292,602	10.1
Jul.	(2,713,329)	(3,055,187)	(12.6)
8	2,520,134	2,933,381	16.4
Aug.	(2,206,746)	(2,646,445)	(19.9)
9	2,272,883	2,872,487	26.4
Sep.	(1,913,105)	(2,544,751)	(33.0)
10	2,496,568	3,312,000*	32.7*
Oct.	(2,177,382)		
11	2,441,274	3,187,000*	30.5*
Nov.	(2,145,425)		
12	2,526,387		
Dec.	(2,292,029)		
1~11	29,355,662	33,379,900*	13.7*
Jan.-Nov.	(25,965,112)		
1~12	31,882,049		
Jan.-Dec.	(28,257,141)		

訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。
()内は総数のうちの観光客数



- 2022.6.10～ 添乗員付きパッケージ ツアーに限定した訪日観光が再開。
- 9/7～ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージ ツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。
- 10/11～ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明が陰性証明で原則撤廃。
- 2023.4.29～ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めている ワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

出典: 日本政府観光局(JNTO)12/18プレスリリース「訪日外客数(2024年11月推計値)」

2024年11月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

全国

外国人

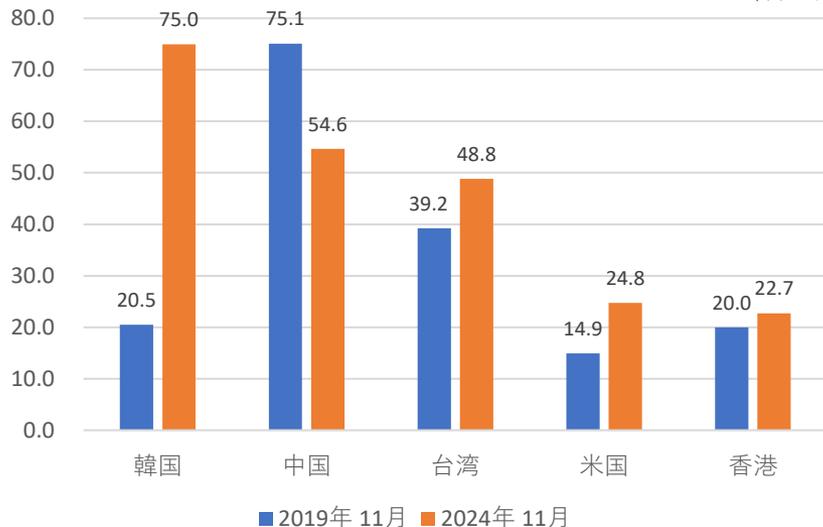


国・地域	総数				2024 総数			
	2019年 11月	2024年 11月	(順位)	2019比 (%)	2019年 1月～11月	2024年 1月～11月	(順位)	2019比 (%)
韓国	205,042人	749,500人	(1位)	365.5%	5,336,638人	7,950,300人	(1位)	149.0%
中国	750,951人	546,300人	(2位)	72.7%	8,884,160人	6,376,900人	(2位)	71.8%
台湾	392,102人	488,400人	(3位)	124.6%	4,542,333人	5,553,200人	(3位)	122.3%
米国	148,993人	247,500人	(4位)	166.1%	1,579,363人	2,486,100人	(4位)	157.4%
香港	199,702人	227,100人	(5位)	113.7%	2,041,150人	2,397,800人	(5位)	117.5%

韓国が2019年比約366%で推移している。2019年は日韓情勢の悪化等により訪日旅行控えの動きが出ていたことに加え、2024年11月は仁川ー熊本・新千歳・松山間での増便等があり、訪日外客数は11月として過去最高を記録。

訪日外客数 各国・地域別ランキング

(単位：万人)



11月動向

- 11月の訪日外客数は、3,187,000人で、前年同月比では30.6%増、2019年同月比では30.5%増と、同月として過去最高を記録した。また、11月までの累計は33,379,900人となり、これまでの過去最高であった2019年の年間累計を上回り、過去最多となった。
- 航空便数が2024年冬ダイヤ時点において2019年と同等の水準まで回復しているなか、先月に引き続き紅葉シーズンによる訪日需要の高まりにより、中国、韓国、台湾、米国などで前年同月に比べて訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- 1月からの累計では、23市場のうち5市場（韓国、香港、インドネシア、ベトナム、フランス）が11月時点で過去最高を更新し、これまでに計16市場が累計での過去最高を記録している。
- 昨年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

交通機関に関する情報

航空業界の状況／クルーズ船の状況



関西国際	8月	9月	10月
総旅客数(人)	2,794,282	2,498,765	2,680,022
2019年比	97%	101%	106%
国際線 発着数(回)	12,800	12,287	12,961
2019年比	93%	97%	102%
国際線 旅客数(人)	2,151,070	1,896,884	2,087,001
2019年比	96.7%	101.1%	106.7%
うち外国人 旅客数(人)	1,586,442	1,411,720	1,658,088
2019年比	114.5%	121.4%	126.6%
国内線 旅客数(人)	643,212	601,881	593,021
2019年比	98%	101%	105%

神戸	8月	9月	10月
国内線 発着数(回)	2,738	2,846	2,922
2019年比	101%	102%	105%
国内線 旅客数(人)	333,576	315,117	330,741
2019年比	101%	104%	113%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・国際線旅客数は、外国人旅客数が2019年同月比127%と、新型コロナウイルス感染症流行前の実績を大幅に上回る結果となりました。また日本人旅客数も2019年同月比67%となり、旅客数全体としては2019年同月比107%と、先月に引き続き新型コロナウイルス流行前の実績を上回りました。
- ・神戸空港発着回数は、前年同期間比95%、2019年比105%。旅客数は、前月同期間比106%、2019年比113%。

📄直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は [53ページ](#)、
2024年10月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は [54ページ](#)へ

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。



入国状況 (人数)	6月	7月	8月	9月	前年 同月比	2019年 同月比
英国	4,238	4,786	4,658	4,872	127%	64%
フランス	4,971	7,655	6,319	6,254	175%	144%
豪州	10,868	7,848	7,226	16,119	154%	182%
米国	35,498	28,727	17,799	18,812	126%	119%
中国	230,239	262,350	266,116	235,873	185%	83%
台湾	128,800	120,259	121,122	104,935	111%	120%
香港	71,721	80,793	71,410	41,524	101%	110%
韓国	198,061	195,805	153,122	178,041	93%	324%
タイ	15,614	14,179	8,442	13,092	82%	91%
マレーシア	6,687	5,112	5,006	13,770	145%	151%
インドネシア	9,942	6,449	4,838	6,674	94%	116%
シンガポール	15,632	6,152	5,679	10,240	99%	145%
合計	732,271	740,115	671,737	650,206	123%	121%

英国の2019年比64%となっているが、ラグビーW杯のイングランドやスコットランドの試合が神戸で開催され、英国からの観戦者が多く来日した関係で低い数値となっている。

オーストラリアは前年比154%、2019年比182%で推移している。2024年4月のシドニー関空の復便により、送客能力がアップしたことが要因の一つと考えられる。

マレーシアは東南アジアで唯一、前年比が100%を超えているが、9月はマレーシアのスクールホリデーや連休が絡んだ影響で145%で推移したと考えられる。

ターゲット12か国合計、前年同月比123%

ターゲット12か国合計、2019年同月比121%

▶ ランキング及び前年同月比

- ・1位 中国：235,873人 / 185% (前年同月比) 83% (2019年同月比)
- ・2位 韓国：178,041人 / 93% (前年同月比) 324% (2019年同月比)
- ・3位 台湾：104,935人 / 111% (前年同月比) 120% (2019年同月比)

▶ 前月と順位の入替わりはなく、今月も中国が入国者数1位となった。

※2024.11月速報値

関西国際空港入国者数 **838,503人** (10月：829,341人、9月：738,390人)

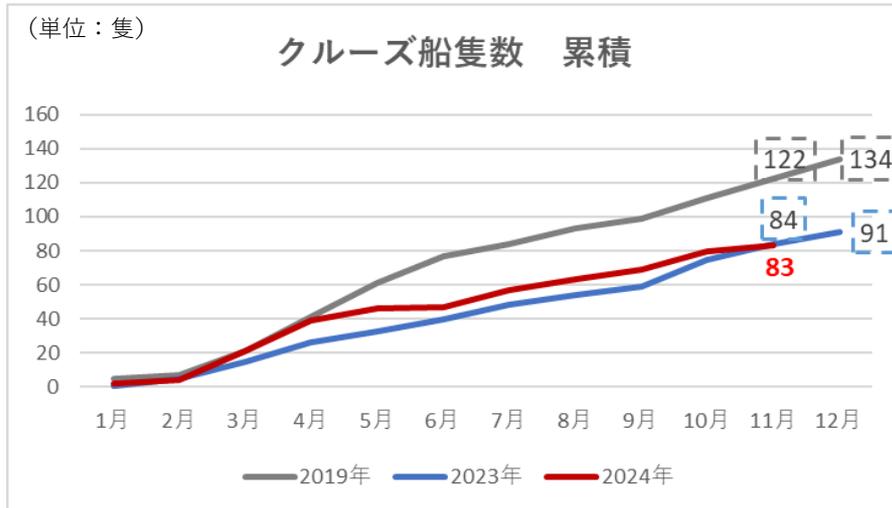
※ターゲット国12か国を含めた全入国者数

前年同月比 ≒ 126%

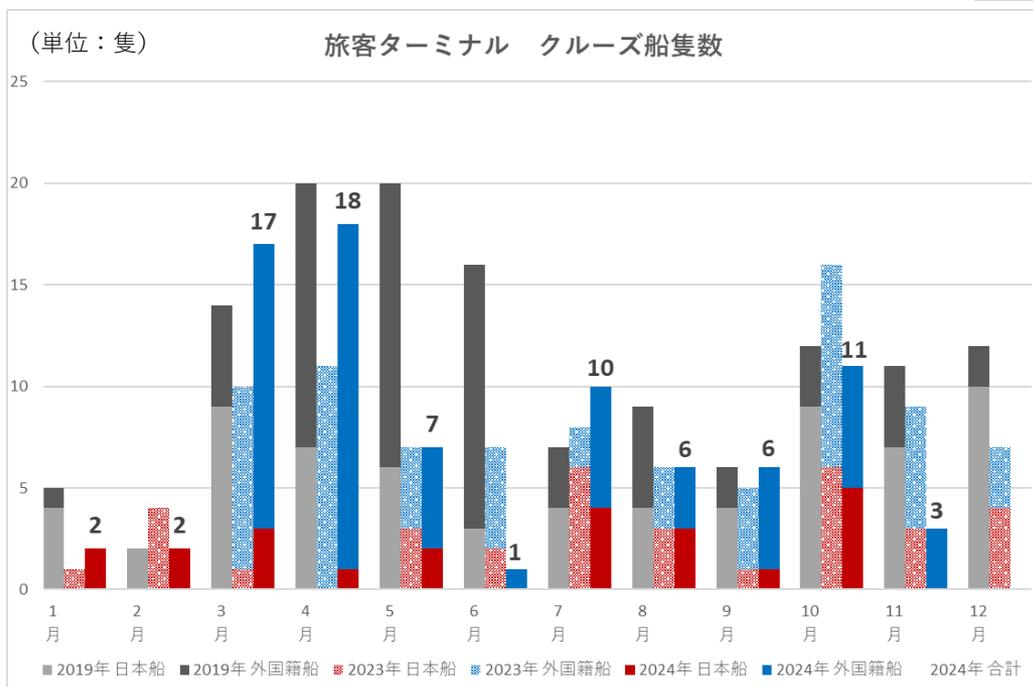
【クルーズ船 隻数】

クルーズ船寄港実績		11月分				
		2024年	2023年	前年比	2019年	2019年比
日本船	隻数	0	3	0%	7	0%
外国籍船	隻数	3	6	50%	4	75%
総合計	隻数	3	9	33%	11	27%
	船客数	6,405	10,813	59%	14,784	43%

(参考グラフB) クルーズ船 隻数の累積



(参考グラフA) クルーズ船 隻数 月別推移



2024年11月

日本船 : 0隻

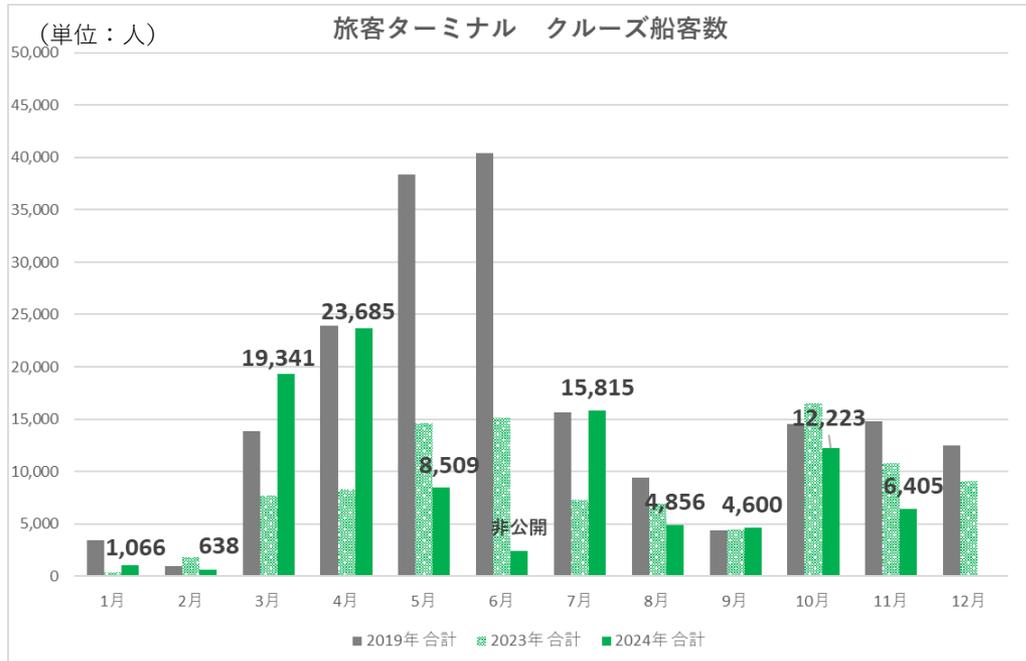
外国籍船 : 3隻

合計 : 3隻 が入港

- ・ 合計隻数は3隻で、昨年比33%となった。2019年同月比では27%。
- ・ 累積では2019年比68%であり大きく下回っているが、2023年比では99%とほぼ同水準となった。

【クルーズ船 船客数】

(参考グラフC) クルーズ船 船客数 月別推移



クルーズの乗船客 市内観光案内所に立ち寄る

11/4 スペクトラム・オブ・ザ・シーズの入港により、三宮の観光案内所に多くの中国人乗船客が訪れ、多くの問合せをいただいた。
内容としては神戸ビーフのレストランの問合せが多かった。また、有馬温泉へのアクセス質問や交通セット券の購入などもいただいた。

客船クラス情報

カジュアルクラス

大型客船が中心で、エンターテインメント性が重視される。クルーズ初心者が挑戦しやすいランク。

プレミアムクラス

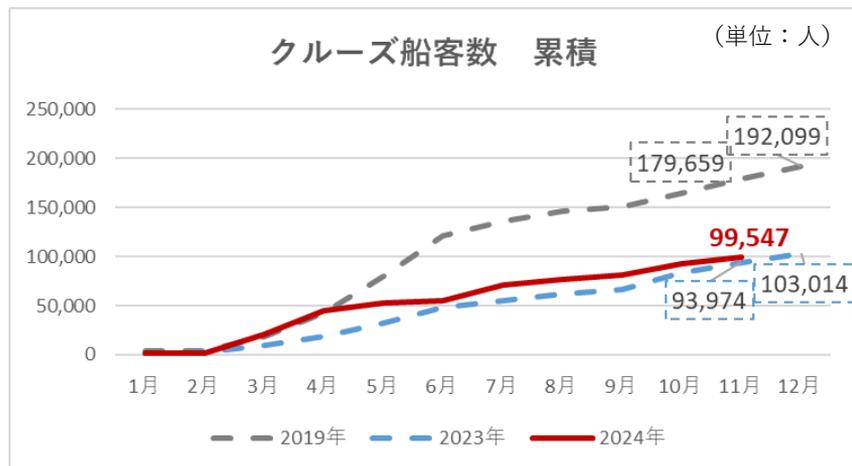
中大型客船が中心で、船内は落ち着いたイメージ。ワンランク上のサービスや施設を楽しむことが可能。

ラグジュアリークラス

中小型客船が中心となり、質の高いサービスを受けられる。大型客船では入港出来ない小さな港への訪問が可能なのも魅力。

11/4「スペクトラム オブ ザ シーズ」が中国より約5,000人を乗せて神戸に寄港した。
11/23から「バイキング・エデン」による神戸発着クルーズがスタートした。
本船は来年の1月中旬まで毎週神戸へ入港し、多島美を満喫できる瀬戸内海を航行するクルーズをはじめ多彩なクルーズを展開する。

(参考グラフD) クルーズ船 船客数の累積



【クルーズ船】 1月の入港予定情報

神戸



「バイキング・エデン」神戸発着クルーズが続く、「飛鳥II」は7年ぶりのオセアニアグランドクルーズへ

- ・「バイキング・エデン」が神戸発着クルーズで3回入港してきます。
- ・「飛鳥II」が、暖かな南洋の島々やオセアニアを訪れる40日間のクルーズに出港します！

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 クルー除く	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
バイキング・エデン (ZHAO SHANG YI DUN)	1/4(土)6:30~1/4(土)15:00	47,842トン	930名	日本人他	ラグジュアリー	ポートターミナル
バイキング・エデン (ZHAO SHANG YI DUN)	1/9(木)6:30~1/9(木)16:00	47,842トン	930名	日本人他	ラグジュアリー	ポートターミナル
バイキング・エデン (ZHAO SHANG YI DUN)	1/14(火)6:30~1/14(火)16:00	47,842トン	930名	日本人他	ラグジュアリー	ポートターミナル
にっぽん丸	1/17(金)9:00~1/17(金)17:00	22,472トン	449名	日本人	プレミアム	中突堤ターミナル
飛鳥II	1/20(月)14:00~1/20(月)17:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	中突堤ターミナル
にっぽん丸	1/20(月)9:00~1/20(月)17:00	22,472トン	449名	日本人	プレミアム	ポートターミナル



▲バイキング・エデン

▲飛鳥II

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。

📍神戸市：客船入港予定 (kobe.lg.jp)

※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗船客数」とは異なりますのでご注意ください。

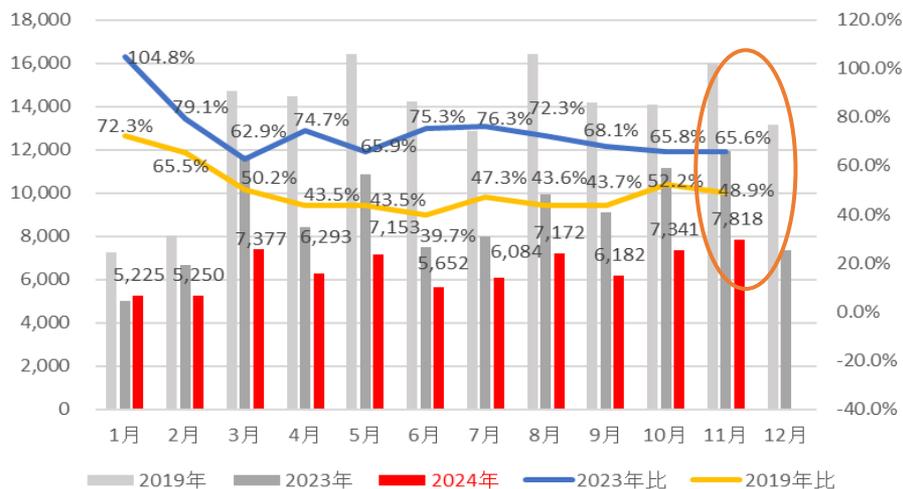
※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的にラグジュアリー>プレミアム>カジュアルの順となります。

・1/20(月)「飛鳥II」オセアニアグランドクルーズ出港時には16:30より出港セレモニーをはじめ、神戸市消防音楽隊による歓送演奏、神戸市消防艇による歓送放水、神戸港オリジナルUW旗の配布を予定しています。

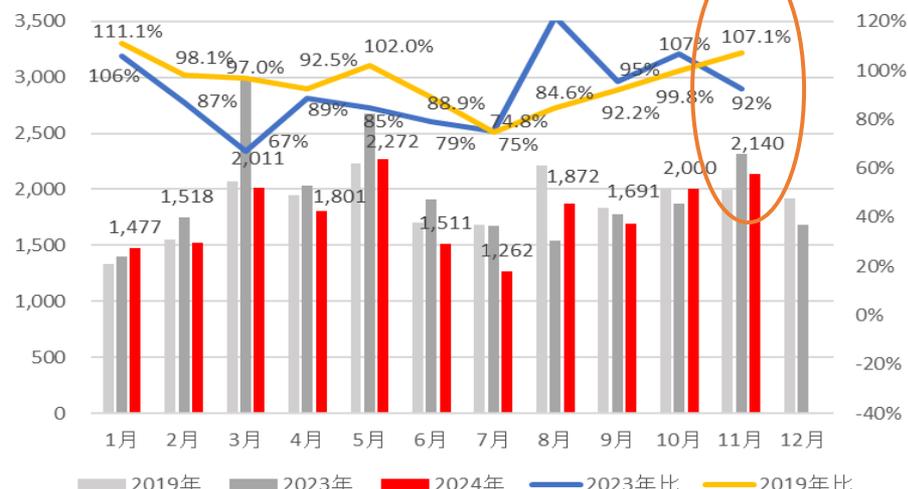
神戸市内観光に関する情報

～神戸観光局オリジナルデータ～

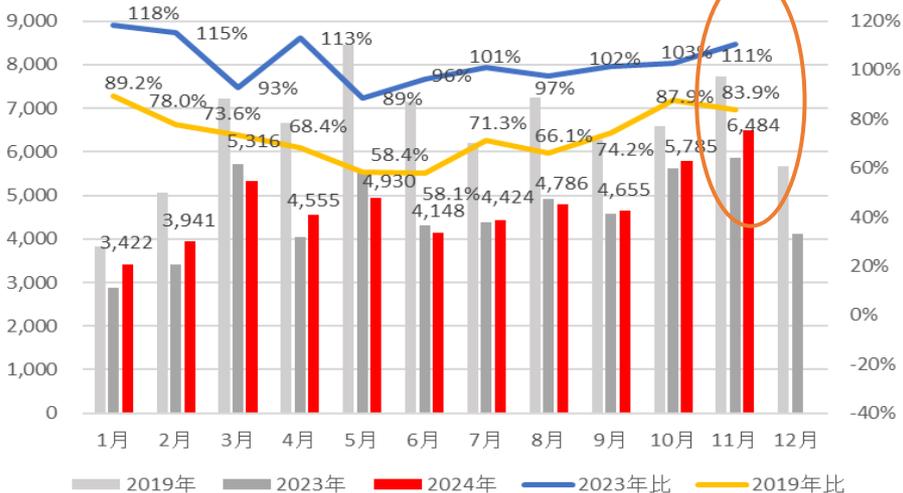
総合IC



北野



新神戸



○総合インフォメーションセンター（JR三ノ宮駅東口南）

前年同月比65.6%、2019年同月比48.9%

※駅前工事の影響で、来館者の減少が続いている。

○北野観光案内所（北野異人館街）

前年同月比92%、2019年同月比107.1%

○新神戸駅観光案内所（JR新神戸駅構内、改札前）

前年同月比111%、2019年同月比83.9%

11月案内所全体件数 16,442件 ⇒ 前年同月比81.9% 2019年同月比 64%

国・地域	総合IC	北野	新神戸	合計	割合	
アジア	韓国	265	79	37	381	7.7%
	中国	556	124	95	775	15.6%
	台湾	149	80	77	306	6.1%
	香港	132	14	34	180	3.6%
	タイ	94	14	56	164	3.3%
	シンガポール	87	19	35	141	2.8%
	マレーシア	46	12	24	82	1.6%
	インドネシア	6	4	18	28	0.6%
	フィリピン	25	3	30	58	1.2%
	ベトナム	2	0	0	2	0.0%
	インド	14	0	15	29	0.6%
	パキスタン	2	0	0	2	0.0%
	バングラデシュ	0	0	0	0	0.0%
	その他アジア	895	0	189	1084	21.8%
中東	イスラエル	0	3	2	5	0.1%
	トルコ	0	0	0	0	0.0%
	イラン	0	1	0	1	0.0%
	その他中東	1	0	4	5	0.1%
ヨーロッパ	英国	12	16	44	72	1.4%
	フランス	39	26	67	132	2.7%
	イタリア	9	13	10	32	0.6%
	ロシア	8	4	9	21	0.4%
	ギリシャ	0	0	0	0	0.0%
	アイルランド	0	1	2	3	0.1%
その他ヨーロッパ	468	47	77	592	11.9%	
アフリカ	南アフリカ共和国	0	0	0	0	0.0%
	エジプト	0	1	0	1	0.0%
	その他アフリカ	5	0	0	5	0.1%
北アメリカ	米国	52	21	97	170	3.4%
	カナダ	6	9	24	39	0.8%
	メキシコ	0	0	14	14	0.3%
	その他北米	13	0	0	13	0.3%
南アメリカ	ブラジル	2	0	0	2	0.0%
	アルゼンチン	0	0	1	1	0.0%
	コロンビア	0	0	1	1	0.0%
	その他中南米	11	0	0	11	0.2%
オセアニア	オーストラリア	13	15	50	78	1.6%
	ニュージーランド	2	2	2	6	0.1%
	その他オセアニア	0	0	0	0	0.0%
地域不明	1	21	520	542	10.9%	
	(人)	2915	529	1534	4978	100.0%

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者2,915人（約8割がアジア系）、2019年同月比57%、前年同月比76%
- ・今月は、周遊バスを利用して市街地観光される方が目立っていた。
- ・有馬温泉へのアクセスの問い合わせが増加した。問い合わせ内容としては、どのように行くのか？というルートの質問ではなく、予めご自身のスマートフォンで交通ルートを検索して直接その交通機関の乗り場を質問される方が多くなった。そのため、紙媒体での案内やマップを渡すと喜ばれるケースが多かった。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者529人、2019年同月比75%、前年同月比118%
- ・外国人の中ではアジア系が最も多くトータル349人、外国人全体の約65%を占めました。
- ・アジア系の中では中国124人、台湾80人、韓国79人、シンガポール19人、香港14人、タイ14人、マレーシア12人、その他7人の順番でした。
- ・ヨーロッパではフランスが26人で一番多くその他英国、イタリア等14か国から来所されていました。
- ・南北アメリカ、豪州地域では米国21人、カナダ9人、豪州15人、その他2か国の来所がありました。中東関係ではイスラエル3人、イラン1人の来所がありました。
- ・市街地の周遊観光が増えたため、シティループバスの停留所の場所に関する質問が多かった。
- ・またハーブ園へのアクセスの質問も多く、ハイキングを兼ねて訪問する外国人観光客は引き続き多数いらっしゃった。案内所のスタンプは引き続き人気が高いです。

〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,534人、2019年同月比213%、前年同月比88%
- ・今月は紅葉の時期であったが、質問は思ったほど多くなかった。
- ・レンタカーを利用する方が増えており、日本で使用できる免許証についての質問が多かった。
- ・またインターネットで調べたのか、ポピュラーでないハイキングルート（六甲山の地藏谷）についての質問があったり、兵庫県立美術館についての質問も増えてきた。
- ・新幹線の駅にある案内所のため、訪日外国人向けの様々なJR企画チケットについて、実際の使用方法を尋ねられることが多い。
- ・新富士、倉敷、成田空港、御殿場アウトレット、広島など広域の問合せが増加中である。

11月案内所全体件数 4,978件 ⇒ 前年同月比82.1%
2019年同月比75.9%

○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔件数状況〕 ・ 11月中下旬～12月中旬は平日300件ほど、休日440件ほど。
- 〔客層〕 ・ 国内、引き続きご年配の夫婦、ご年配の女性グループ（2～4名程度）の来所が多い。
・ インバウンドは、アジア系の来所は引き続き多いが、欧州の方の来所が目立つようになってきた。
- 〔行き先〕 ・ 国内、六甲山・摩耶山・森林植物園・ハーブ園・有馬温泉・ハーバーランド・異人館など。
・ アジア系、有馬温泉・六甲山・異人館・ハーバーランド・淡路島ハローキティスマイルなど。
・ 欧米系、六甲山・摩耶山・布引の滝・ハーブ園・メリケンパーク・有馬温泉・姫路・淡路島など。
- 〔内容〕 ・ **11月は六甲山や摩耶山特に森林植物園へのアクセスが急増。バスも常に行列。紅葉の質問も多かった。**
・ 12月に入りイルミネーションの問合せが急増。UMIAKARIへのアクセスも増えてきた。
・ インバウンドは六甲山から有馬温泉への問い合わせが多く、特に東アジアの有馬温泉へ向かう方が多い。
・ スマホゲーム「ブルーアーカイブ」のスポット巡り（神戸周遊スタンプラリー）は超人気。

○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時（3月～10月）

9-17時（11月～2月）

- 〔件数状況〕 ・ 11月中下旬～12月中旬は平日85件ほど、休日95件ほど。
- 〔客層〕 ・ 国内、ご年配の夫婦、男女とも単独・グループの年配層が多い。修学旅行生や校外学習生も多かった。
・ インバウンドは、アジア系のファミリーや女性グループ、男女とも一人旅など多様な客層であった。
- 〔行き先〕 ・ 国内、異人館全般・北野ノスタ・ハーブ園・中華街（南京町）・神戸華僑總會（モダン建築祭）など。
・ インバウンド、異人館全般・ハーブ園・六甲山・竹中大工道具館・神社（生田・青龍・三森）など。
- 〔内容〕 ・ **国内の方からは、大谷選手のポーズを模した世相サンタ（うろこの家）がメディアに載り大人気に。**
・ 海外の方からは、六甲山系のハイキングや夜景、有馬温泉へのアクセスに関する質問が多かった。

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

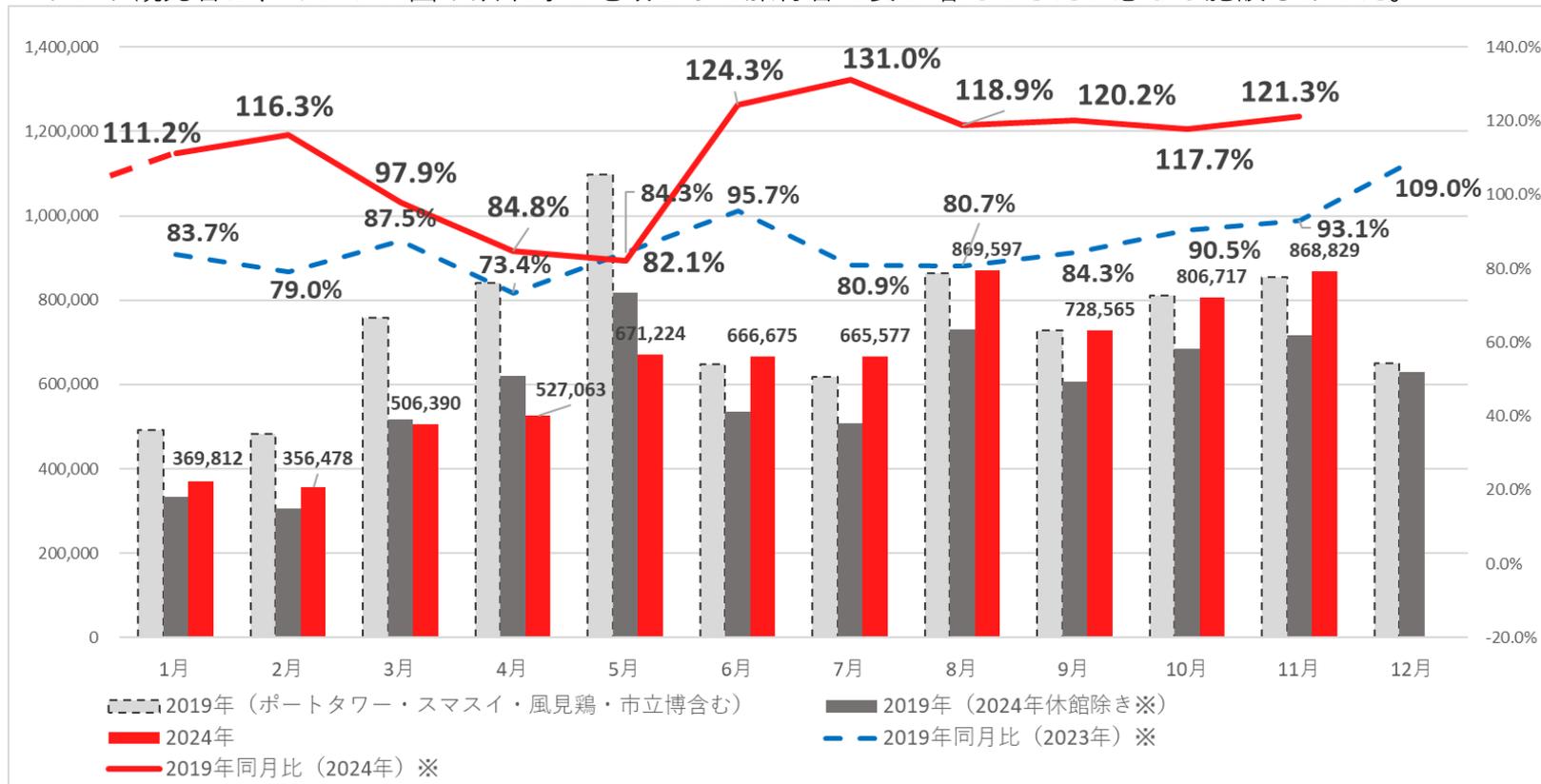
- 〔件数状況〕 ・ 11月中下旬～12月中旬は平日220件ほど、休日300件ほど。
- 〔客層〕 ・ 国内、ご年配夫婦・ご年配の女性グループ・音楽コンサートやイベント参加者など。
・ インバウンド、アジア系（中国・台湾・特にタイが目立つ）のグループやファミリーが多かった。
- 〔行き先〕 ・ 国内、市内観光・布引の滝・有馬温泉・異人館・六甲山・淡路島・ワールド記念ホールなど。
・ インバウンド、ハーブ園・布引の滝・有馬温泉・六甲山・三田アウトレットなど。
- 〔内容〕 ・ **兵庫県立美術館や神戸市立博物館などインドアで楽しめる観光やタクシー移動の問合せが多かった。**
・ 一方で紅葉に関する問合せやイルミネーション鑑賞のため神戸フルーツフラワーパークへ向かう人も。

主要市内観光施設来場者数 (2024.11)

神戸



行楽シーズンのため、団体客を取り込んだ施設がいくつかあったが、後半は急激に冷え込んだため客足が減少。インバウンド観光客は、イスラム圏や欧米等の地域からの旅行客の姿が増えてきたと感じる施設もあった。



※2019年比は、比較時点で改修中の施設除いて比較 (2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：スマスイ、2023年10月～：風見鶏の館、神戸市立博物館) (2024年1月～：ポートタワー、スマスイ、風見鶏の館、神戸市立博物館、北野工房のまち、

4月～：スマスイ、風見鶏の館、北野工房のまち、6月～：風見鶏の館、北野工房のまち)

※2019年の来場者数は、2024年時点で改修中の施設を含んだグラフと、含まないグラフ両方を掲載。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月計
2019年 (ポートタワー・スマスイ・風見鶏・市立博含む)	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2019年 (2024年休館除き※)	332,680	306,441	517,159	621,394	817,589	536,380	507,947	731,188	606,214	685,602	716,483	629,974	7,009,051
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040	504,930	500,273	595,734	651,646	580,809	6,632,715
2024年	369,812	356,478	506,390	527,063	671,224	666,675	665,577	869,597	728,565	806,717	868,829	-	7,036,927
2019年同月比 (2023年) ※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%	80.7%	84.3%	90.5%	93.1%	109.0%	-
2019年同月比 (2024年) ※	111.2%	116.3%	97.9%	84.8%	82.1%	124.3%	131.0%	118.9%	120.2%	117.7%	121.3%	-	-

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

集計対象施設：全20施設 (ラインの館、神戸ポートタワー、王子動物園、神戸どうぶつ王国、神戸布引ハーブ園、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、道の駅フルーツ・フラワーパーク大沢など) 44

神戸市内大型施設の主な催事情報(25年1月) 12月20日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



1月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール
1週目				2日 新春吉本お笑いバラエティショー 3日 新春吉本お笑いバラエティショー 4日 新春吉本お笑いバラエティショー ※各日 ①11:00～ ②15:00～
2週目				5日 新春吉本お笑いバラエティショー ①11:00～ ②15:00～
3週目	12日～17日 IEEE 802 Wireless Interim Session		12日 第10回リアルチャンピオンシップ 決勝大会 第5回全日本高等学校空手道選手権大会 18日 MBSアニメフェス2025 15:30～	13日 伊藤蘭 17:00～
4週目	23日 ジビエ流通衛生管理高度化事業 集合研修in神戸 23～24日 The 7th R-CCS International Symposium	19日 マイナビ看護学生就職セミナー 22～23日 2025春夏もの日本シューズ産業見本市 22～23日 第180回2025夏 日本グランドシューズコレクション&全国サタールフェア2025 25～26日 第46回日本病院薬剤師会近畿学術大会	19日 MBSアニメフェス2025 16:30～ 25日 AIMYON (あいみょん) 18:00～	19日 神戸国際taiko音楽祭2025 15:00～ 20日 SUPER BEAVER 19:00～ 21日 SUPER BEAVER 18:00～
5週目			26日 AIMYON (あいみょん) 17:00～ 28日 サザンオールスターズ 18:30～ 29日 サザンオールスターズ 18:30～	26日 桂文珍独演会 14:00～ 29日 荻野目洋子 18:30～

1月	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋	ノエビアスタジアム神戸 ※一部抜粋
1週目		4日 第55回全国高校専門学校ラグビーフットボール大会 ／ユニバー記念競技場 4～6日 新春神戸カップ／グリーンアリーナ神戸	
2週目	11日 神戸フィルハーモニックニューイヤーコンサート 14:00～ 11日 KOBE国際音楽コンクール 10:45～	5・7・9日 第55回全国高校専門学校ラグビーフットボール大会／ユニバー記念競技場	
3週目	12日 KOBE国際音楽コンクール 9:15～ 13日 KOBE国際音楽コンクール 9:30～ 17日 竹下景子～詩の朗読と音楽の夕べ 18:30～ 18日 陸上自衛隊中部方面音楽隊阪神淡路大震災30年 祈念特別演奏会 14:00～	13日 神戸チャレンジカップ／グリーンアリーナ神戸 18～19日 女子バレーSVリーグ 大阪マーヴェラスvs KUROBEアクアフェアリーズ／グリーンアリーナ神戸 両日とも13:05～	13日 神戸市はたちを祝う会 13:00～
4週目	23日 マスクプレイミュージカル「ピーターパン」 ①10:15～ ②13:00～ 24日 日本ケアマネジメント学会シンポジウムIN神戸 10:30～ 25日 レクイエム・プロジェクト神戸2025 13:45～	23～26日 全国卓球大会／グリーンアリーナ神戸	19日 コベルコ神戸スティーラーズvs. 浦安D-Rocks ／ラグビーリーグワン 12:05～
5週目	26日 PRAY FROM KOBE2025明日につなげるコンサート 13:30～ 26日 第52回兵庫県アンサンブルコンテスト 時間未定	26日 コープこうべS&Bちびっこ健康マラソン ／ユニバー記念競技場	

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

神戸市内大型施設の主な催事情報(25年2月) 12月20日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



2月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール
1週目	1~7日 関西大学入学試験	1~7日 関西大学入学試験	
2週目		4日 マイナビ就活直前フェア 神戸会場 4~10日 2025年度 同志社大学 一般選抜入学試験	
3週目	15日 第16回神戸甲状腺診断セミナー	13~14日 トータルメンテナンスフェア2025 未来にずっとキレイを残したい 14~16日 ワールドアトリエセール	11日 FREDERIC (フレデリック) 18:00~ 14日 Vaundy (バウンディ) 18:00~ 15日 Vaundy (バウンディ) 16:00~
4週目	21~22日第48回日本嚔下医学会総会ならびに学術講演会	16日 シンデレラ☆ステージ13STEP 22~23日 KOBE BEER JAMBOREE 2025	
5週目	23~26日 6th International Brain Stimulation Conference		26日 ZEDD (ゼッド) 19:00~

2月	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目		1日 チェルフィッシュ×藤倉大with神戸市室内管弦楽団アンサンブル 「リビングルームのメタモルフォーシス」 14:00~	1日 コベルコ神戸スティーラーズvsリコーブラックラムズ東京 ラグビーリーグワン/ユニバー記念競技場 12:00~ 1~3日 兵庫県高校新人バスケットボール大会兼近畿 高校バスケットボール新人大会兵庫県予選 /グリーンアリーナ神戸
2週目		2日 チェルフィッシュ×藤倉大with神戸市室内管弦楽団アンサンブル 「リビングルームのメタモルフォーシス」 14:00~ 8日 なかよしフェスティバル 13:00~ 8日 劇団民藝「グレイクリスマス」 18:30~	8日 コベルコ神戸スティーラーズvs東京サントリーサンゴリアス ラグビーリーグワン/ユニバー記念競技場 12:00~
3週目	15日 細川たかし一門 14:00~	9日 劇団民藝「グレイクリスマス」 13:30~ 13日 ベン・ドゥルファー・コンサート・シリーズ 第1回坂本恵子×古川知子 11:30~	12~14・20日 スプリングカップ2025ママさんバレー大会 /グリーンアリーナ神戸 15・16・22・24日 第76回近畿高校ラグビーフットボール大会 /ユニバー記念競技場
4週目	19日 SIGUR ROS (シガー ロス) 19:00~ 22日 三浦大知 17:30~	16日 バレエガラコンサート 16:30~	15~16日 近畿総合パドミントン選手権大会シニアの部 /グリーンアリーナ神戸 18~19日 VICTAS杯西日本レディース大会/ユニバー記念競技場
5週目	23日 三浦大知 16:00~ 27日 大阪フィルハーモニー交響楽団 ×神戸市混声合唱団 祈りのコンサート 阪神淡路大震災30年 メモリアル 19:00~	23日 第41回神戸アンサンブルソロイスツ定期演奏会 13:30~	23日 神戸ユニバーリレマラソン/ユニバー記念競技場 23~24日 JFA第30回全日本フットサル選手権大会 /グリーンアリーナ神戸

※ノエピアスタジアム神戸の情報は公開次第、次号のマンスリーレポートにて掲載いたします。

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

神戸市内大型施設の主な催事情報(25年3月) 12月20日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



3月	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目		1日 クレイジーケンバンド 17:00～	1日 わんだふるぶりきゅあドリームステージ ①10:15～ ②14:00～	1～2日 第49回近畿ミニバスケットボール交歓大会 ／グリーンアリーナ神戸
2週目	8日 MY FIRST STORY 18:00～	2日 倍賞千恵子 with 小六禮次郎 15:00～ 7日 舟木一夫 14:00～ 8日 三山ひろし 14:00～	2日 法村友井バレエ学校合同発表会 17:00～	8日 兵庫フィールド記録会 長距離記録会 ／ユニバー記念競技場
3週目	9日 MY FIRST STORY 17:00～ 11～12日 KOBE CUP 2025大学 フットサルリーグ交流大会	9日 斉藤由貴 17:00～ 15日 南こうせつ 17:00～	9日 春のドン祭り2025神戸 11日 ベゼントルファ・コンサート・シリーズ 第2回久元祐子 11:30～ 15日 神戸市室内管弦楽団第166回定期演奏会 「In Flower」 15:00～	9日 KOBE自他共栄CUP学生柔道大会 ／グリーンアリーナ神戸 15日 コベルコ神戸スティーラーズvs三重ホンダヒート ラグビーリーグワン／ユニバー記念競技場 14:30～ 15～16日 ジャパンオープン・パラ卓球選手権大会 ／グリーンアリーナ神戸
4週目	20日 キュウソネコカミ 12:30～ 22日 MEGA VEGAS 12:00～	16日 清水ミチコ 16:30～	16日 ワンワンまつりわっしょいしよい ①13:00～ ②16:00～ 16日 六甲フィルハーモニー管弦楽団第56回定期演奏会 14:00～ 18日 令和6年度春の音楽祭 13:30～ 20日 第十七回 神戸能 13:00～ 22日 ウインドアンサンブルZERO第7回定期演奏会 13:30～	20日 全国ドクターラグビー大会 ／ユニバー記念競技場 20日 バスケットボールカーニバル ／グリーンアリーナ神戸 22～23日 兵庫県中学校陸上競技記録会 ／ユニバー記念競技場 22～23日 FUTSAL KOBE FESTA2025 ／グリーンアリーナ神戸
5週目	23日 MEGA VEGAS 12:00～ 28日 ATEEZ 18:00～ 29日 ATEEZ 15:00～	29日 サンリオキャラクターズ ファミリーミュージカル 14:00～	23日 人形劇団クラルテ公演こどもの劇場 「パンどろぼう」 ①11:00～ ②14:30～ 29日 神戸市混声合唱団春の定期演奏会 「阪哲朗の合唱」 14:00～	28～29日 兵庫県卓球選手権大会 (高校の部) ／グリーンアリーナ神戸 29日 神戸市陸上記録会／ユニバー記念競技場 30日 陸上春季記録会／ユニバー記念競技場 30日 兵庫県卓球選手権大会 ／グリーンアリーナ神戸 31日 神戸市卓球選手権大会 (高校の部) ／グリーンアリーナ神戸

※神戸国際会議場・神戸国際展示場・ノエビアスタジアム神戸の情報は公開次第、次号のマンスリーレポートにて掲載いたします。
 ※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

參考資料集

2024年11月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

全国

外国人



国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 11月	2024年 11月	伸率(%)	2019年 1月～11月	2024年 1月～11月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,441,274	3,187,000	30.5	29,355,662	33,379,900	13.7
韓国	South Korea	205,042	749,500	265.5	5,336,638	7,950,300	49.0
中国	China	750,951	546,300	-27.3	8,884,160	6,376,900	-28.2
台湾	Taiwan	392,102	488,400	24.6	4,542,333	5,553,200	22.3
香港	Hong Kong	199,702	227,100	13.7	2,041,150	2,397,800	17.5
タイ	Thailand	140,265	118,000	-15.9	1,154,041	1,002,200	-13.2
シンガポール	Singapore	65,295	95,800	46.7	391,876	555,000	41.6
マレーシア	Malaysia	64,987	62,000	-4.6	423,342	435,200	2.8
インドネシア	Indonesia	37,213	48,800	31.1	353,576	442,600	25.2
フィリピン	Philippines	64,763	87,100	34.5	531,572	710,100	33.6
ベトナム	Vietnam	41,892	50,200	19.8	464,445	581,100	25.1
インド	India	14,863	23,500	58.1	164,157	216,000	31.6
豪州	Australia	48,327	80,300	66.2	549,118	807,800	47.1
米国	U.S.A.	148,993	247,500	66.1	1,579,363	2,486,100	57.4
カナダ	Canada	33,316	47,300	42.0	340,130	531,100	56.1
メキシコ	Mexico	6,494	13,500	107.9	65,246	139,800	114.3
英国	United Kingdom	37,709	37,000	-1.9	396,529	406,800	2.6
フランス	France	24,290	31,100	28.0	316,072	364,300	15.3
ドイツ	Germany	19,525	25,200	29.1	222,905	310,100	39.1
イタリア	Italy	12,350	20,800	68.4	151,573	214,600	41.6
スペイン	Spain	10,535	18,800	78.5	122,948	171,800	39.7
ロシア	Russia	13,142	13,900	5.8	111,210	93,400	-16.0
北欧地域	Nordic Countries	12,157	12,300	1.2	131,131	140,100	6.8
中東地域	Middle East	9,836	19,100	94.2	89,606	153,700	71.5
その他	Others	87,525	123,500	41.1	992,541	1,339,900	35.0

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

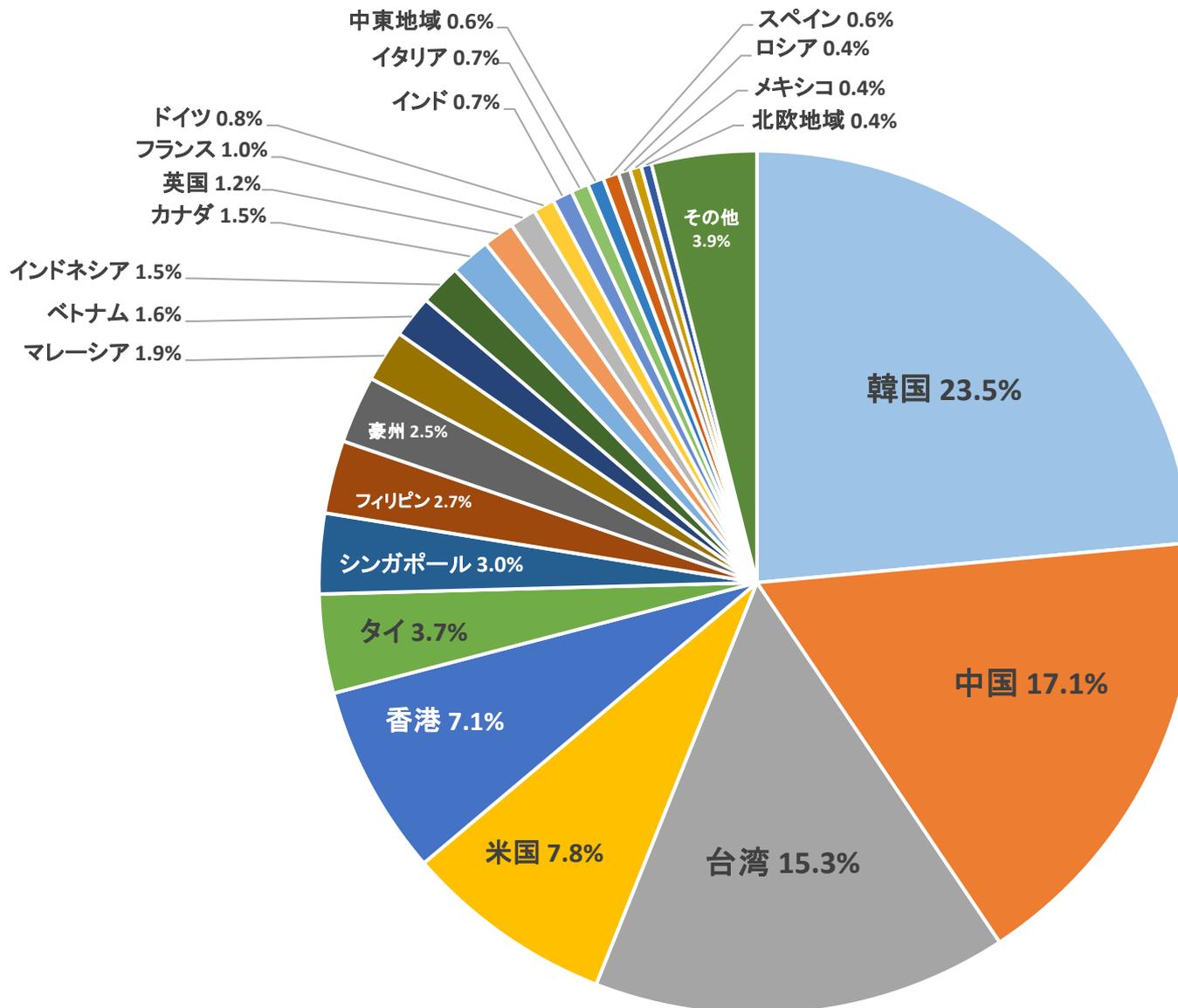
※黄マーカー・・・年間の累計での過去最高を10月時点で更新した国・地域

※赤マーカー・・・年間の累計での過去最高を11月時点で更新した国・地域

出典: 日本政府観光局(JNTO)12/18プレスリリース「訪日外客数(2024年11月推計値)」

2024年11月訪日外客数の各国・地域別の内訳

全国 外国人



※北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド

※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

宿泊タイプ別客室稼働率

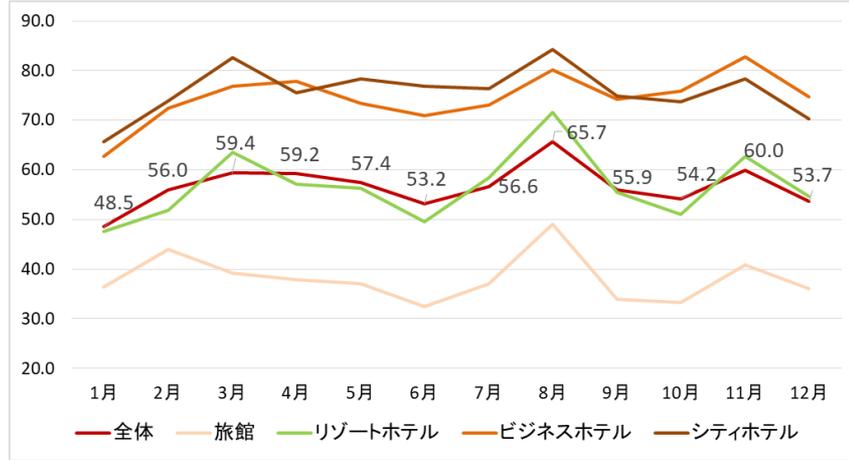
全国 関西



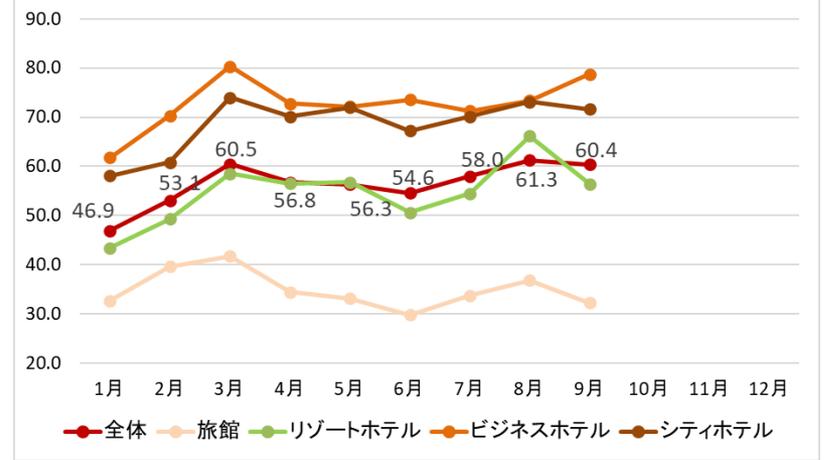
2019年／2024年比較

【兵庫県】

(2019年)

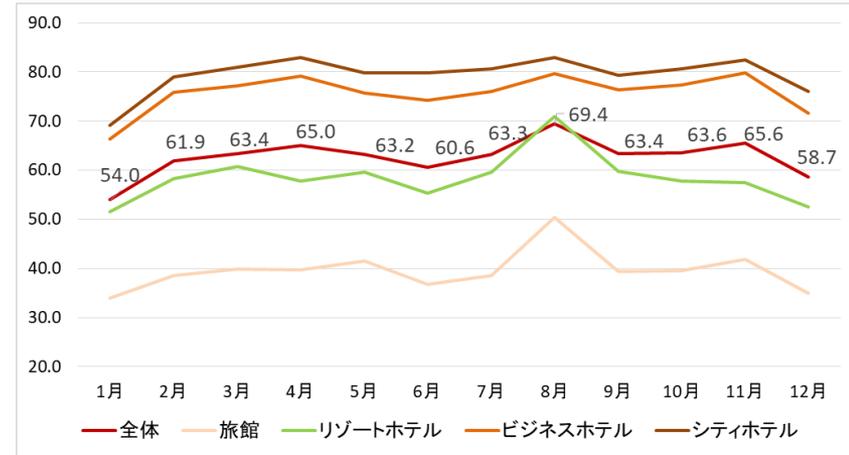


(2024年)

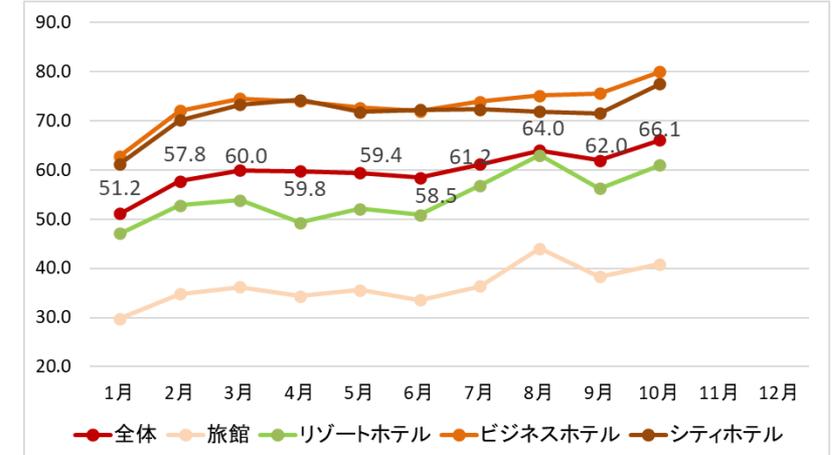


【全国】

(2019年)



(2024年)



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(令和6年8月・第2次速報)(令和6年9月・第1次速報値)

世界の運航状況

2023年12月と比較した2024年12月の座席数

地域	前年比
世界	105%
西欧	105%
東欧	108%
北米	103%
中米	101%
南米	107%
東アジア	105%
東南アジア	108%
中東	106%
太平洋（豪州ほか）	101%

出典：OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出
<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

今月最大の国ペアはメキシコとアメリカの490万席。中国が絡む市場は成長率が高く、前年比で中国と日本は+61.0%、中国とタイは+49.6%の座席数増加となっている。日本と韓国(+14.5%)、日本と台湾(+18.9%)など、日本が絡む市場も好調な動きを見せている。

世界の座席利用率(2024年10月)

ポイントは2023年同月差
 ※PLF

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	84.1% 2.2p	82.9% 0.3p	日本	84.0% 2.9p
欧州	86.2% 1.1p	85.7% 1.1p	中国	86.2% 5.9p
北米	83.2% -1.1p	84.2% 0.3p	インド	81.7% -2.7p
中南米	84.5% -0.4p	85.3% -0.6p	米国	82.5% -1.7p
中東	80.3% -0.1p	80.2% -0.2p	豪州	86.2% 2.8p
合計	83.9% 0.8p	83.5% 0.6p	合計	84.5% 1.2p

出典：IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

※PLF（passenger load factor, load factor）
 客の入り（満席度合い）を示す値

- 10月の航空業界全体の旅客キロ（RPK）は前年同月比7.1%増となり、過去最高を記録した。国際線旅客数は前年同月比9.5%増となった。
- 国内線輸送量は前年同期比3.5%増となった。中国が9.7%の伸びで引き続きトップ。

※RPK（Revenue Passenger-Kilometers）
 各有償旅客が搭乗し、飛行した距離の合計。有償旅客数×輸送距離

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2023年11月～2024年10月)

12月13日時点

関西



関西国際	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総旅客数(人)	2,248,330	2,343,066	2,219,780	2,344,914	2,589,988	2,393,050	2,487,602	2,507,437	2,660,240	2,794,282	2,498,765	2,680,022
2019年比(%)	88%	92%	85%	94%	90%	87%	90%	93%	95%	97%	101%	106%
国際線 発着数(回)	10,422	11,168	11,128	10,504	11,787	11,504	11,973	11,684	12,411	12,800	12,287	12,961
2019年比(%)	81%	81%	81%	88%	88%	87%	89%	88%	90%	93%	97%	102%
外国人 旅客数(人)	1,315,362	1,462,590	1,388,558	1,454,941	1,471,730	1,588,937	1,574,809	1,625,800	1,675,007	1,586,442	1,411,720	1,658,088
2019年比(%)	99.5%	110.4%	97.6%	105.3%	104.8%	101.3%	106%	105.9%	109.2%	114.7%	121.4%	126.6%
国内線 旅客数(人)	560,494	535,880	502,062	536,065	608,344	497,336	540,719	517,544	588,707	643,212	601,881	593,021
2019年比(%)	99%	97%	91%	102%	95%	87%	90%	94%	96%	98%	101%	105%

神戸	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内線発着 回数(回)	3,084	2,887	2,743	2,680	2,934	2,768	2,898	2,556	2,621	2,738	2,846	2,992
2019年比(%)	109%	94%	98%	122%	118%	112%	110%	106%	106%	101%	102%	105%
国内線 旅客数(人)	289,069	270,485	260,577	276,459	304,933	270,560	301,220	294,832	308,563	333,576	315,177	330,741
2019年比(%)	97%	95%	93%	112%	106%	107%	109%	112%	110%	101%	104%	113%

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2023年11月～2024年10月)

12月13日時点

神戸

神戸観光局



路線	内容	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新千歳	旅客数(人)	43,196	42,492	46,235	52,002	53,622	40,345	51,845	58,105	61,055	62,184	63,809	62,040
	利用率(%)	70.4	66.3	73.5	88.5	84.9	56.0	71.0	84.4	82.7	84.4	89.4	84.2
青森	旅客数(人)	2,815	831	899	1,455	2,192	2,133	2,706	2,604	3,140	3,950	3,563	3,763
	利用率(%)	57.3	61.8	67.3	62.3	42.8	42.3	52.8	51.7	60.3	78.4	70.7	72.4
花巻	旅客数(人)	2,998	1,206	1,097	1,165	2,586	1,282	2,026	2,235	2,595	3,381	3,199	3,658
	利用率(%)	59.5	65.5	82.1	49.5	51.4	25.6	41.6	44.3	50.5	67.9	65.0	71.2
仙台	旅客数(人)	18,105	15,938	13,858	14,970	17,583	14,305	15,943	15,138	15,967	16,937	17,349	18,486
	利用率(%)	85.2	72.6	63.1	72.9	80.1	67.3	73.8	71.3	72.7	77.2	81.7	84.2
茨城	旅客数(人)	25,650	22,447	20,017	19,725	25,375	22,311	23,861	22,643	23,324	26,045	24,248	27,049
	利用率(%)	80.5	68.2	61.1	64.8	77.1	70.0	73.7	71.1	70.8	79.5	76.1	82.2
羽田	旅客数(人)	75,378	76,490	68,498	69,536	76,756	75,243	80,574	77,580	79,206	80,160	80,349	82,653
	利用率(%)	87.0	84.6	78.5	86.1	88.1	79.4	84.2	84.4	81.8	86.4	87.8	87.2
松本	旅客数(人)	7,173	5,498	5,280	5,100	6,308	4,385	5,407	5,788	6,556	5,891	6,416	7,433
	利用率(%)	73.3	54.6	53.0	55.2	62.6	43.8	54.9	58.9	64.3	59.5	64.4	73.4
高知	旅客数(人)	2,458	2,239	1,988	1,353	1,613	260	485	-	-	927	-	-
	利用率(%)	48.8	43.1	38.3	28.7	32.6	38.7	48.1	-	-	55.2	-	-
長崎	旅客数(人)	25,011	22,927	21,952	23,562	26,906	24,502	26,369	22,764	24,133	25,644	25,822	27,409
	利用率(%)	78.5	69.6	69.6	76.5	81.7	76.9	81.4	72.7	73.3	80.9	82.0	83.3
鹿児島	旅客数(人)	17,471	16,278	16,543	16,758	17,119	15,764	18,153	16,233	16,183	15,720	17,725	18,695
	利用率(%)	82.9	74.2	75.4	81.6	78.6	74.8	84.8	76.4	73.7	75.9	83.5	85.2
那覇	旅客数(人)	55,432	51,647	51,006	57,917	61,811	56,997	59,576	56,992	62,048	76,064	57,462	64,580
	利用率(%)	75.1	67.7	67.2	81.2	81.0	76.3	77.2	75.8	79.3	87.9	77.8	84.6
下地島	旅客数(人)	8,224	7,095	7,019	7,510	8,203	8,203	8,892	9,247	8,493	9,822	8,757	9,160
	利用率(%)	77.4	64.7	64.0	73.2	74.7	79.9	82.4	87.1	80.0	89.5	82.5	83.5
合計	旅客数(人)	283,911	265,088	254,392	271,053	300,074	265,730	295,837	289,329	302,700	326,725	308,699	324,926
	利用率(%)	78.1	71.6	69.8	79.2	80.6	70.2	76.8	77.7	77.7	83.2	82.7	84.2

※高知便は期間限定運航(4月27日～5月6日)(8月9日～8月19日)

出典:神戸市港湾局空港調整課「神戸空港利用状況」より一部抜粋